

# 赤田東遺跡発掘調査概要

— 統合小学校建設に伴う埋蔵文化財調査 —

2004年10月

富山県小杉町教育委員会







巻頭図版



赤田東遺跡上空から日本海を望む(上)；発掘区(下)

# 赤田東遺跡発掘調査概要

— 統合小学校建設に伴う埋蔵文化財調査 —

2004年10月

富山県小杉町教育委員会



## 例　　言

1. 本書は富山県射水郡小杉町下条地内に所在する赤田東遺跡の発掘調査概要である。
2. 調査は統合小学校建設事業に先立ち、小杉町教育委員会学校教育課の依頼を受け、同教育委員会生涯学習課が実施したものである。
3. 調査事務局は小杉町教育委員会生涯学習課に置き、課長補佐(文化財保護係長) 高橋　登(平成13～15年度)・主幹(文化財保護係長) 堀川辰幸(平成16年度)が調査事務を担当し、生涯学習課長 御後庄司(平成13年度)・石黒信明(平成15・16年度)が総括した。
4. 調査は13年度の試掘調査を生涯学習課主任 原田義範が担当し、15年度の本調査は民間調査会社から調査員1名の派遣を得て、小杉町教育委員会の原田と株式会社エイ・テックの堀井泰樹が行った。
5. 調査期間及び面積は次のとおりである。

試掘調査 平成13(2001)年10月19日～10月26日 (延べ 6日間)	対象面積 27,000m <sup>2</sup>	発掘面積 2,251m <sup>2</sup>
本調査 平成15(2003)年9月17日～12月1日 (延べ 37日間)		発掘面積 750m <sup>2</sup>
遺物整理及び報告書作成 平成16(2004)年4月1日～10月29日		
6. 調査の実施にあたり、富山県教育委員会文化財課、富山県埋蔵文化財センターから助言・指導をいただいた。また、発掘から報告書刊行に至るまで次の方々から協力を得た。記して深く謝意を表したい。(敬称略、五十音順)  
安念幹倫・池野正男・栗山雅夫・田中 明・宮田進一・山内賢一
7. 本書掲載の遺物写真は、牛嶋 茂氏(奈良文化財研究所)と杉本和樹氏(西大寺フォト)の指導・協力を得て、両氏が撮影した写真を使用した。
8. 発掘調査及び遺物整理の従事者は次のとおりである。(五十音順)  
[現地調査] 酒井すず子・酒井義雄・土田ユキ子・久野静枝・三上正夫・安田久実代・山口チズ子  
[整理作業] 金瀬ますみ・吉島正喜・開 一美・堀埜実津子・吉沢泰子
9. 調査で得た図面・写真・遺物は小杉町教育委員会で保管し、出土遺物には遺跡名を次の略号で記入している。  
赤田東遺跡(統合小学校) : ADE-S
10. 遺物実測図に掲載した木製品は、株式会社吉田生物研究所に委託し、高級アルコールの含浸による保存処理を行った。

## 凡　　例

1. 本書に掲載の遺構図の方位は座標北、水平基準は海拔高である。
2. 調査区のグリッド杭の座標値(世界測地系)は次のとおりである。  
 $X5Y10=X78669.934$   $Y-6912.492$   $X10Y10=X78679.293$   $Y-6908.969$   $X10Y15=X78675.770$   $Y-6899.610$
3. 遺構の分類記号は次の呼称を踏襲した。  
SD:溝・川跡 SK:土坑 SP:柱穴及び柱穴状ピット SX:不明遺構
4. 本書掲載図版の縮尺は遺構図が1/80、出土遺物実測図が1/4を基本とし、縮尺の異なる図についてはスケールとともにその縮尺を表記した。また、遺物写真図版の縮尺は任意である。
5. 土器の断面は須恵器・珠洲を黒塗りとし、他の土器は白抜きとした。また、遺物実測図中の網点等の表示は下記の表現として用いた。

 : 赤彩  : タール  : 鉄釉  : 灰釉  : 天目茶碗  : 石の断面

6. 土層図中の色調は、小山正忠・竹原秀雄編 1967『新版標準土色帖』日本色研事業株式会社の表記を用い、土色の測定には土色計(第一合成社製 SCR-1)を使用した。
7. 出土木製品の樹種調査は株式会社吉田生物研究所に委託し、その分析結果をIV章に掲載した。

## 目 次

I 位置と周辺の遺跡.....	1
II 調査に至る経緯.....	3
III 調査の概要.....	9
1. 基本層序.....	9
2. 遺構と遺物.....	9
3. まとめ.....	9
IV 小杉町赤田東遺跡出土木製品の樹種調査結果.....	28

## 挿図目次

第1図 調査地と周辺の主な遺跡.....	2
第2図 試掘トレチ及び本調査発掘区位置.....	4
第3図 試掘調査の出土遺物(6・9・11・12・14・15T).....	5
第4図 試掘調査の出土遺物(16~19・24・27T).....	6
第5図 試掘調査の出土遺物(30~34T).....	7
第6図 試掘調査の出土遺物(36・37・39・40・43・45・46T).....	8
第7図 遺構配置図.....	10
第8図 SD01、SX07遺物出土状況.....	11
第9図 SX07出土遺物.....	13
第10図 SD01・SK02、包含層出土遺物.....	14
第11図 包含層出土遺物(X2~4区).....	15
第12図 包含層出土遺物(X4・5区).....	16
第13図 包含層出土遺物(X5・6区).....	17
第14図 包含層出土遺物(X6~8区).....	18
第15図 包含層出土遺物(X9・10区).....	19
第16図 包含層出土遺物(X11~14区).....	20
第17図 包含層出土遺物(X14~17区、排土).....	21

## 表 目 次

第1表 周辺の遺跡.....	1
第2表 出土遺物観察表.....	22

## 写真図版

卷頭図版 赤田東遺跡上空から日本海を望む(上)：発掘区(下)	図版5 出土遺物(土製品・金属製品)
図版1 試掘調査	図版6 出土遺物(土器：須恵器)
図版2 本調査	図版7 出土遺物(土器：須恵器・土師器)
図版3 出土遺物(石製品)	図版8 出土遺物(羽口・鉄滓・珠洲)
図版4 出土遺物(土器：土師器)	図版9 出土遺物(中世陶器・近世陶器)

## I 位置と周辺の遺跡

赤田東遺跡は富山県射水郡小杉町下条地内に位置し、遺跡の東側には太閤山が、西側には田園地帯が広がる丘陵部（射水丘陵）と平野部（射水平野）との標高約8mという境目辺りに立地する。本遺跡の所在地である小杉町は富山県のほぼ中央に位置し、北側に射水平野、南側には射水丘陵が広がり、丘陵域が全町土の約4割を占める。射水丘陵は新世代第三紀の泥岩・砂岩層によって構成されており、和田川や下条川などの小支流が谷を削り樹枝状の地形を呈する。

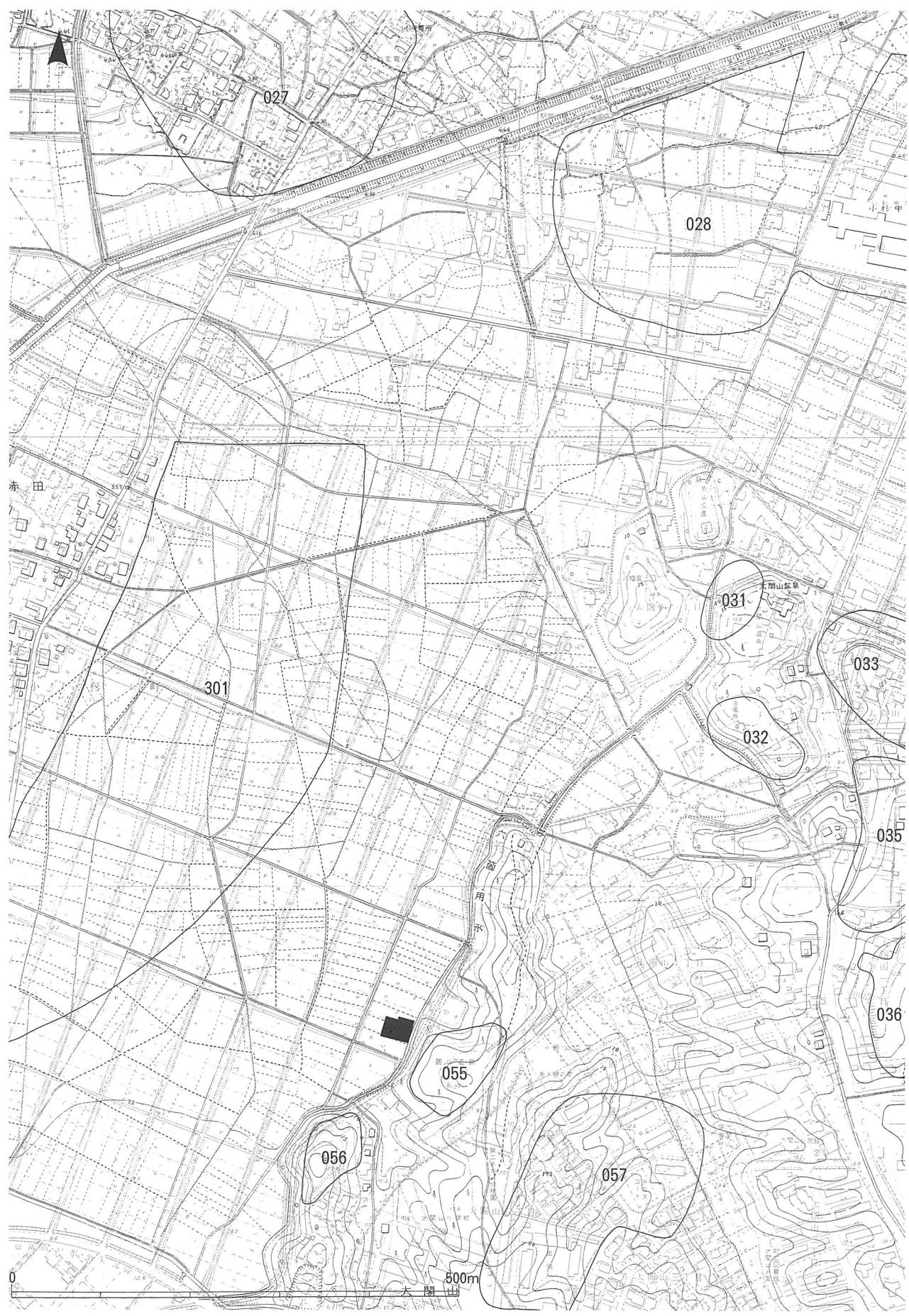
この地帯は周辺の遺跡を概観すると、小杉町では遺跡の密集地帯と言える。その中でも今回は周辺遺跡として11遺跡をあげた。時代も旧石器から近世までと多岐にわたる。北側には小杉伊勢領遺跡や加茂社遺跡、用水路を挟んで東側に縄文時代前期・弥生時代後期の囲山遺跡や、旧石器が確認された中山中遺跡などの重要な遺跡群が隣接し、南側には奈良時代の製鉄跡の囲山東遺跡、近世小杉焼の箕輪窯跡などが丘陵に点在している。

今回周辺遺跡とした11遺跡の他に、縄文時代中期以降に低地の陸地化とともに形成されたと見られる集落遺跡の黒河尺目遺跡があり、弥生・古墳時代の遺跡としては、二の井遺跡・千田遺跡・小杉丸山遺跡がある。奈良・平安時代になると、小杉流通団地遺跡群に代表される須恵器や鉄・炭の製造施設を備えた丘陵地の生産遺跡と、北高木遺跡や荒畠遺跡（大島町）などが平野部に展開する集落遺跡とに大きく分けられる。北高木遺跡からは掘立柱建物や溝などの遺構が検出され、「丈部」「蓑万磨」「介」などと記した墨書き土器・出举木簡・人形・刀子・人面墨書き土器などが出土しており、荒畠遺跡では奈良時代後半の溝から「庄」「林」と書かれた墨書き土器・硯・布目瓦などが出土している。この北高木遺跡及び荒畠遺跡の性格については、出举木簡や国府で出土した布目瓦があること、官衙などで行われる祭祀に用いられた人形や人面墨書き土器があること、神楽川の川沿いに立地することなどから、国府や官衙に属する公的施設があったと推察される。

古代・中世期において、河川は生産地と消費地を繋ぐ重要な手段であったと考えられる。北高木・荒畠両遺跡と同様に下条川流域でも、墨書き土器や斎串が大量に出土した赤田I遺跡が本遺跡周辺に見られ、赤田東遺跡は赤田I遺跡を構成する遺跡群の一つと考えられる。

番号	遺跡名	所在地	種別	時代	備考
027	小杉伊勢領	三ヶ字中吉原	散布地	縄文・弥生・奈良・平安 近世	昭33年町指定史跡 平3~5年本調査
028	加茂社	戸破字加茂	散布地	古代	平5~14年試掘調査 平6年本調査
031	太閤山温泉	黒河	散布地	古墳(初期)	
032	小杉焼箕輪窯跡	黒河	窯	近世	昭41・53年本調査
033	中山北A	黒河	散布地	古墳(初期)	平13年試掘調査
035	中山中	黒河	散布地	旧石器・縄文・弥生・古墳 奈良	昭33年町指定史跡 昭56、平4・7年試掘調査 平2・13年本調査
036	中山南	黒河	集落	弥生	昭38・43年本調査 昭50年県指定史跡
055	囲山	太閤山八丁目	散布地・墓	縄文(前期)・弥生(後期)	昭44年本調査 平5年県指定史跡
056	囲山南	太閱山七丁目	散布地	不明	
057	囲山東	太閱山八丁目	製鉄	奈良	昭44年本調査
301	赤田I	下条字二の井・赤田	集落・祭祀	古墳(初期)・平安	平14年本調査

第1表 周辺の遺跡



第1図 調査地と周辺の主な遺跡(1:6,000)

## II 調査に至る経緯

### 1 調査に至るまで

小杉町下条と太閤山の両地区小学校統合は、長年地元から要望のあった橋下条小学校校舎の老朽化に伴う改築や児童数減少による学校存続などの諸問題とが町の重要課題となっていた。橋下条小学校は明治17（1884）年に新築され、その後校舎の増改築やプール・体育館建設などが行われ、昭和40年代頃までに一応の施設整備を終えていた。

一方、昭和39年から54年にかけて『太閤山ニュータウン造成事業』に伴い、丘陵地であった地域が住宅地化し社会資本整備が町の一大事業となっていた。団地内の学校建設も急務な案件となっており、昭和47年4月の太閤山小学校開校までの約7年間は、橋下条小学校区に太閤山地区が加わり、当初の転入生6名であったが転出時には169名に増加していた。その後、橋下条小学校児童数の減少から、地理的に最も近い太閤山小学校との統合を前提に両地区的協議が進められた。交渉は難航したが、平成12年2月両校の中間点で新たな小学校を建設することで合意に至った。

統合小学校建設の方向性が示され、平成12年11月から建設に係る町関係課との連絡調整会議が開かれている。埋蔵文化財の取り扱いについては、建設予定地の一部が周知の埋蔵文化財包蔵地（赤田東遺跡）に含まれること、予定地に未踏査区域があることから条件が整いしだい分布調査及び試掘調査を行い、その結果に基づき保護措置を図ることを確認した。

### 2 分布調査（平成12年度）

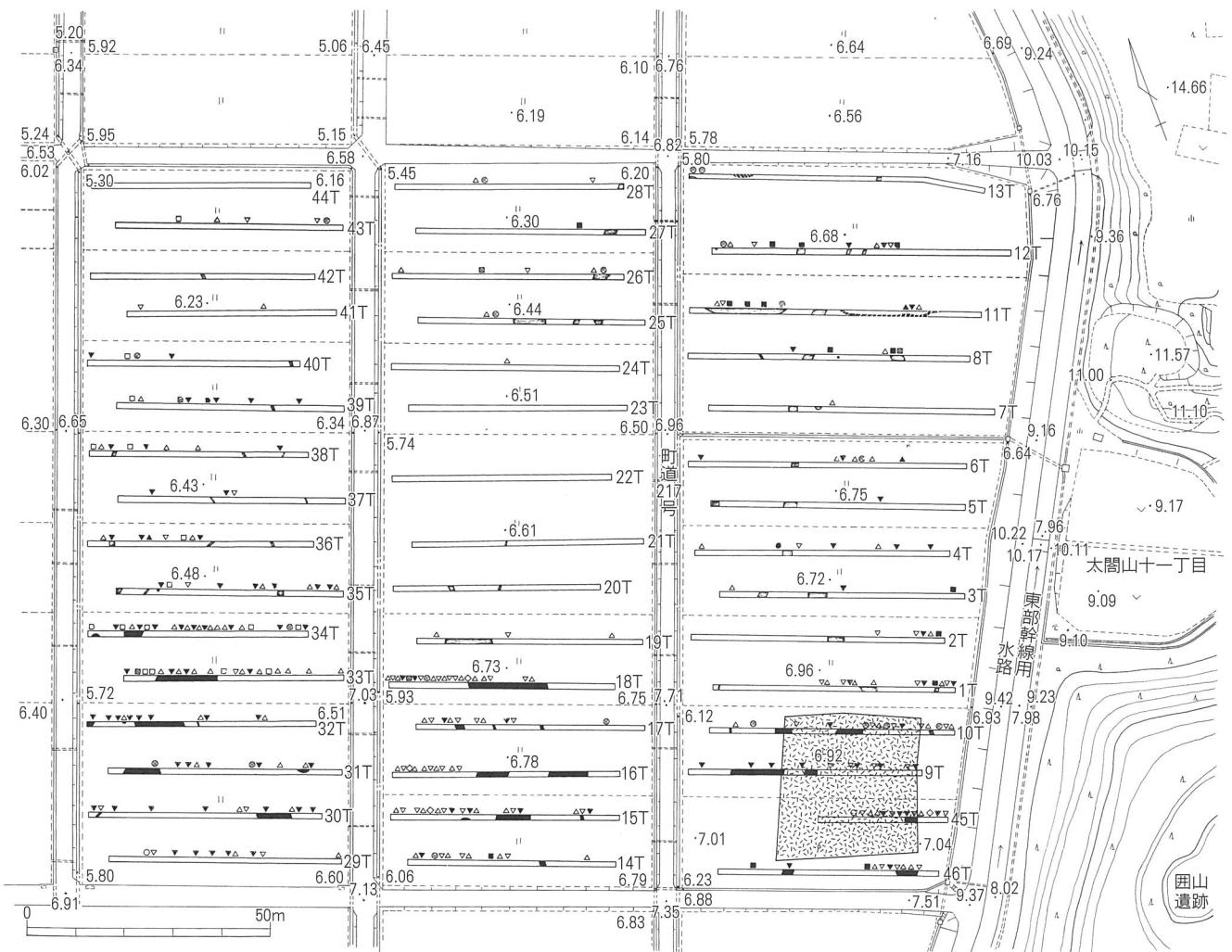
調査は平成13年3月22日に建設予定地の約28,500m<sup>2</sup>で実施した。遺物の分布状況は周知の埋蔵文化財包蔵地（赤田東遺跡）の南東側に多く見られ、包蔵地の範囲も南東に拡大する様相を呈していた。大量に見つかった遺物は、弥生時代後期から古墳時代初期と平安時代の二時期が大半を占めるが、中世から近世の陶器・磁器も採集されている。調査の結果から大規模な集落跡などの存在が想定され、建設予定地全体で試掘調査による遺跡の確認を実施することになった。

### 3 試掘調査（平成13年度）

調査は県補助を受けて、平成13年10月19日～10月26日までの6日間で重機により対象地に46本の試掘溝（トレンチ）を掘り、その後人力で精査を行った。発掘面積は2,251m<sup>2</sup>である。遺物はどのトレンチからも出土したが、特に建設予定地の南側でまとまって出土する傾向がみられ、溝跡や土坑跡が確認されている。この調査区南側は、標高の最も高い部分にあたり、遺構確認をした地山の土質も比較的安定した地盤となっていた。これらの結果を踏まえ、計画地の約3分の1にあたる8,200m<sup>2</sup>で遺構等に影響の及ぶ工事を実施する場合は、本発掘調査が必要であるとの判断に至った。

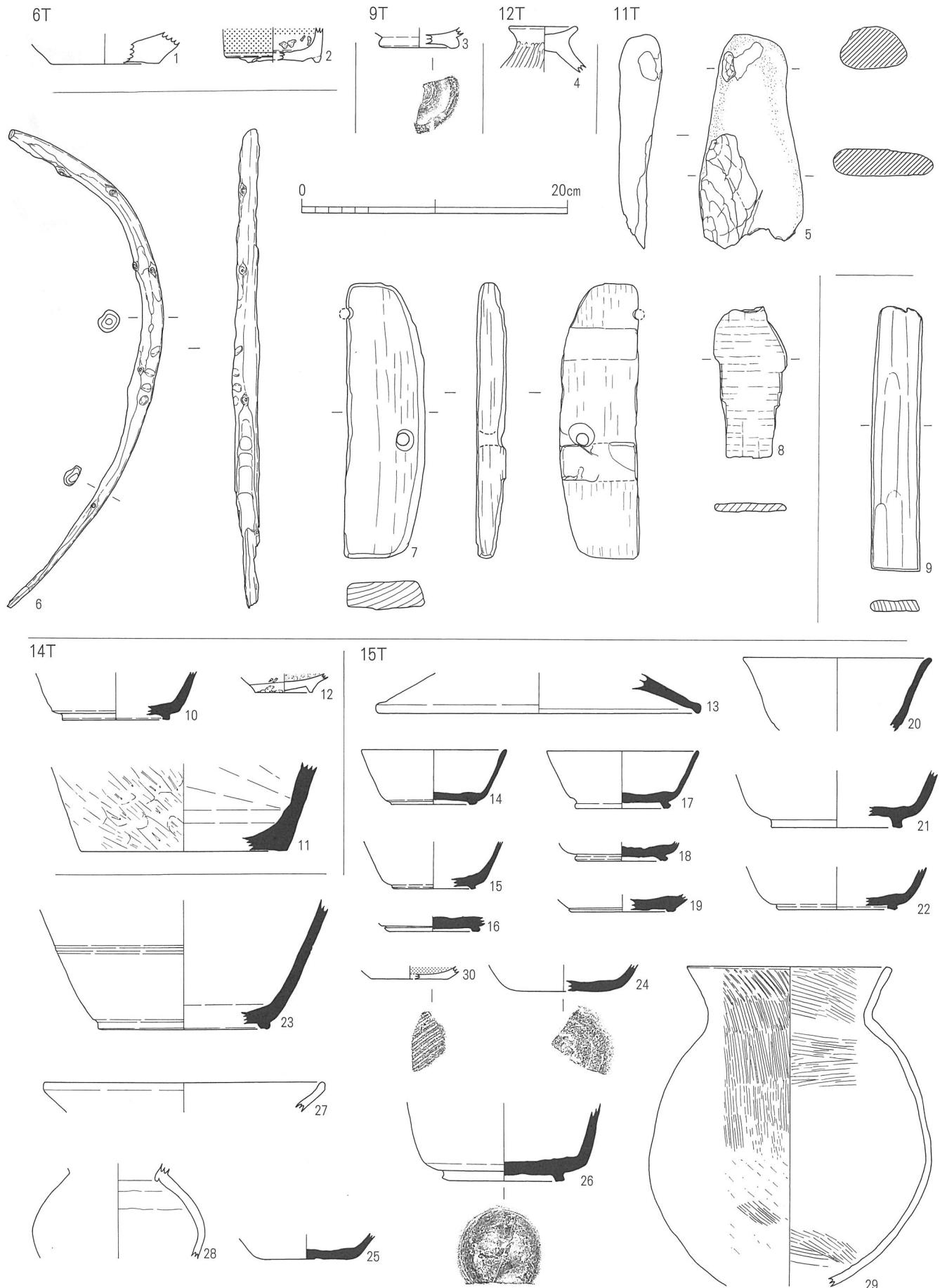
### 4 本発掘調査（平成15年度）

平成13年12月に報告を行った試掘結果から、計画敷地内の遺構が確認された範囲にグラウンドなどを配置し、盛土による保存の検討を行うこととなった。しかし、敷地内の校舎位置は、統合小学校建設推進委員会により平成14年の秋頃に決定するスケジュールとなっていたため、本発掘調査の要否の結論は委員会の判断待ちとなっていた。平成14年10月に提出を受けた統合小学校の計画平面図を検討した結果、プール建設予定箇所で地下遺構に影響が及ぶ約750m<sup>2</sup>で本発掘調査を行い、残る7,450m<sup>2</sup>はグラウンド用地として盛土保存することになった。調査は、統合小学校用地周辺整備として行われていた町道二ノ井赤田線建設事業に先立つ埋蔵文化財調査に目途のついた、平成15年9月17日から開始し12月1日の37日間で終了した。

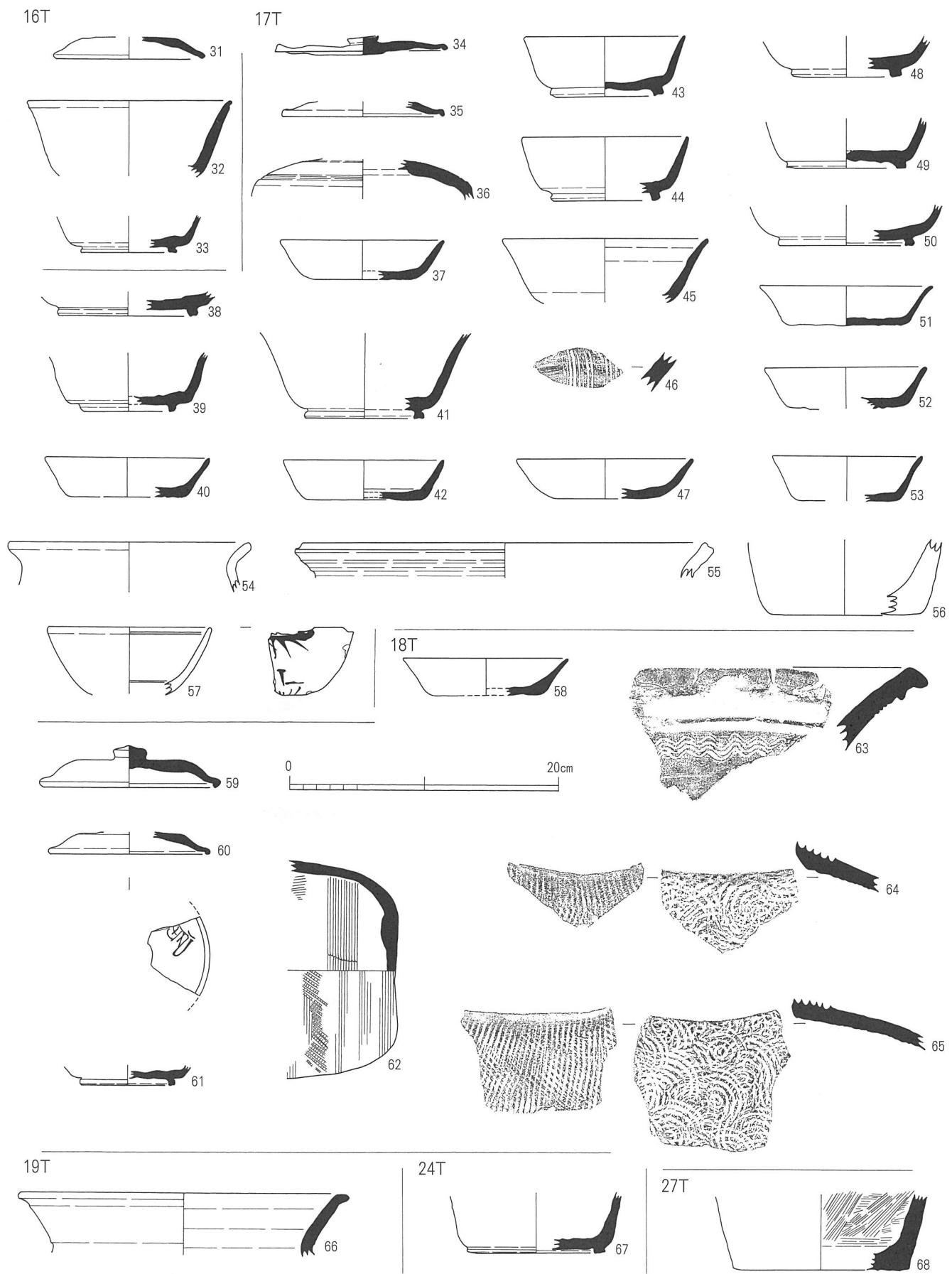


試掘トレンチ	遺構(古墳・古代)	遺構(近世以降)	本調査区域
● 縄文土器	▣ 中世土師器	▲ 石器・石製品	■ 珠洲
□ 弥生土器	◎ 木製品	△ 須恵器	○ 中世陶器
▽ 古代土師器	◇ 鉄滓	▼ 古式土師器	⊗ 近世陶器

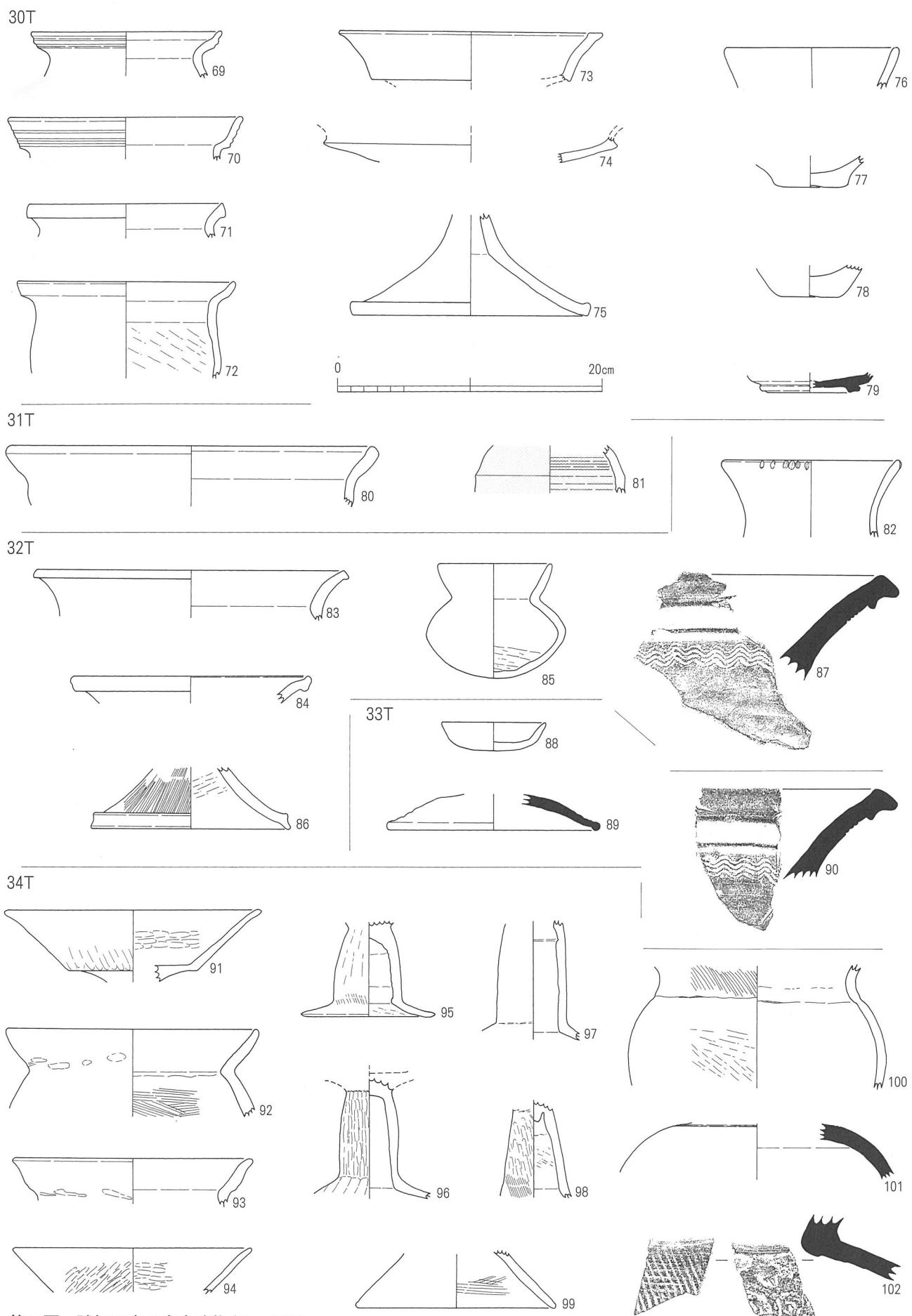
第2図 試掘トレンチ及び本調査発掘区位置



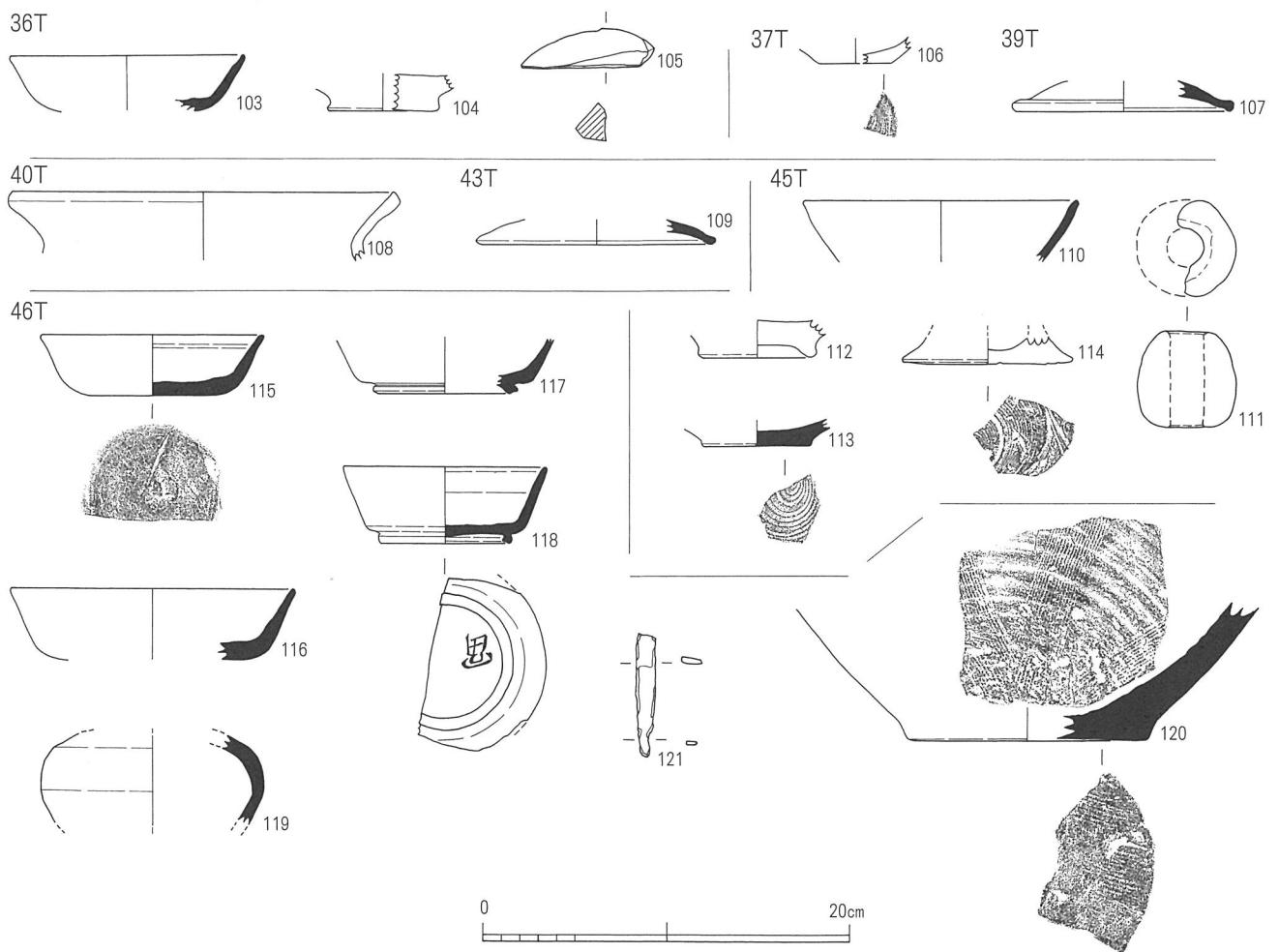
第3図 試掘調査の出土遺物(6・9・11・12・14・15T)



第4図 試掘調査の出土遺物(16~19・24・27T)



第5図 試掘調査の出土遺物(30~34T)



第6図 試掘調査の出土遺物(36・37・39・40・43・45・46T)

### III 調査の概要

#### 1. 基本層序

調査区の基本層序は1～4層に分層される。上から1層は水田耕作土、2層は黒褐色(7.5YR3/1)弱粘性の水田床土、3層は炭化物を含む暗灰色(N3/0)強粘性の自然堆積土、4層は灰黄色(2.5Y6/2)強粘性の地山である。

#### 2. 遺構と遺物

##### 1号溝(S D01、第7・8・10図、図版2・7)

調査区西側に位置する北東—南西方向にやや蛇行する溝で、両端とも調査区外へのびる。全長約33m、幅220cm～500cm、深さ16cm～31cmを測る。断面は皿状を呈し、覆土は炭化物を含む暗青灰色粘土層が主に堆積している。遺物は縄文土器・須恵器・土師器・木製品が出土している。第10図162は底径7.6cmを測る縄文土器深鉢である。

##### 3号溝(S D03、第7・8図)

調査区北西端に位置する溝で、両端とも調査区外へのびるため正確な外形は不明である。覆土は炭化物を若干含む灰色粘土層が堆積している。遺物の出土はない。

##### 2号土坑(S K02、第7・8・10図、図版4)

調査区北側に位置し6号柱穴状土坑と重なる楕円形土坑である。規模は長軸160cm、短軸86cm、深さは最深で42cmを測る。覆土は炭化物を若干含む灰色粘土層が主に堆積し、底部に褐灰色粘土層が一部混入する。遺物は土師器が出土。第10図165・166は底部に糸切り痕を残す土師器坏、時期は9世紀後半のものである。

##### 4号柱穴状土坑(S P04、第7・8図)

調査区北西側、1号溝・3号溝に囲まれた位置にある柱穴状土坑、深さは最深で26cmを測る。東側に隣接する5号柱穴状土坑と二基しか検出されなかったため、建物に伴う遺構とは考えにくい。遺物の出土はない。

##### 5号柱穴状土坑(S P05、第7・8図)

4号柱穴状土坑の東側に位置する柱穴状土坑、深さは最深で40cmを測る。覆土は炭化物を若干含む暗青灰色粘土層が堆積する。遺物の出土はない。

##### 7号不明遺構(S X07、第7～9図、図版2～4・6・7)

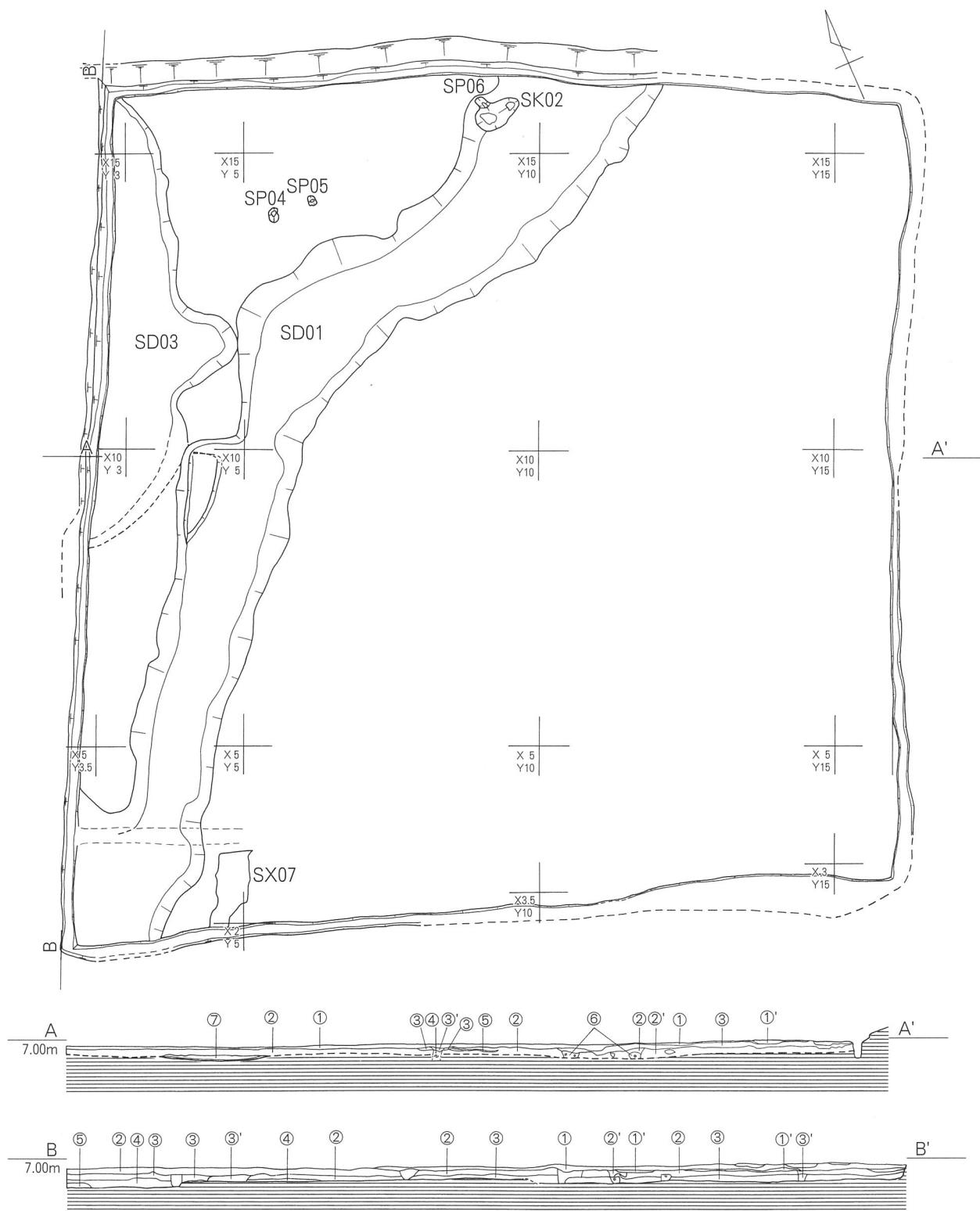
調査区南西端に位置する不明遺構。遺物が地山直上で出土するが、掘り込みがはっきりしないため土器溜まりと考えられる。第9図123～157は9世紀後半の土師器坏である。150は内面黒色処理のもの。158～160は須恵器である。

##### 包含層出土遺物(第10～17図、図版3～9)

包含層からは縄文土器・土師器・須恵器・珠洲・中世土師器・青白磁・古瀬戸・越中瀬戸・木製品・石製品・金属製品・土製品・鉄滓と、縄文時代から江戸時代に至る遺物が出土している。第11図220は礫石錘。第12図256は刀子。第13図280～282は須恵器双耳瓶、時期は9世紀末～10世紀前半にかけてのものである。298はフイゴの羽口。第15図361は自然釉が付着する須恵器水瓶。第16図403は口径37.4cmを測る珠洲大甕。第17図439～441は塊形鉄滓である。

#### 3. まとめ

遺構配置図には図示していないが、暗渠排水管が数多く埋設されていたことから、圃場整備前は水捌けの悪い水田であったことが窺えた。1号溝は出土した遺物は大半が古代で、2号土坑や土師器坏がまとまって出土した7号不明遺構と同時期と捉えられる。調査地から北へ約500m離れた地点では平安時代の祓えの儀式を執り行ったと考えられる溝が確認されていることやこの溝から通常の集落や溝などから確認されない緑釉陶器などもまとまって出土していることから調査区を含めた一帯に官衙や郡衙に関係する施設などの存在が示唆される。



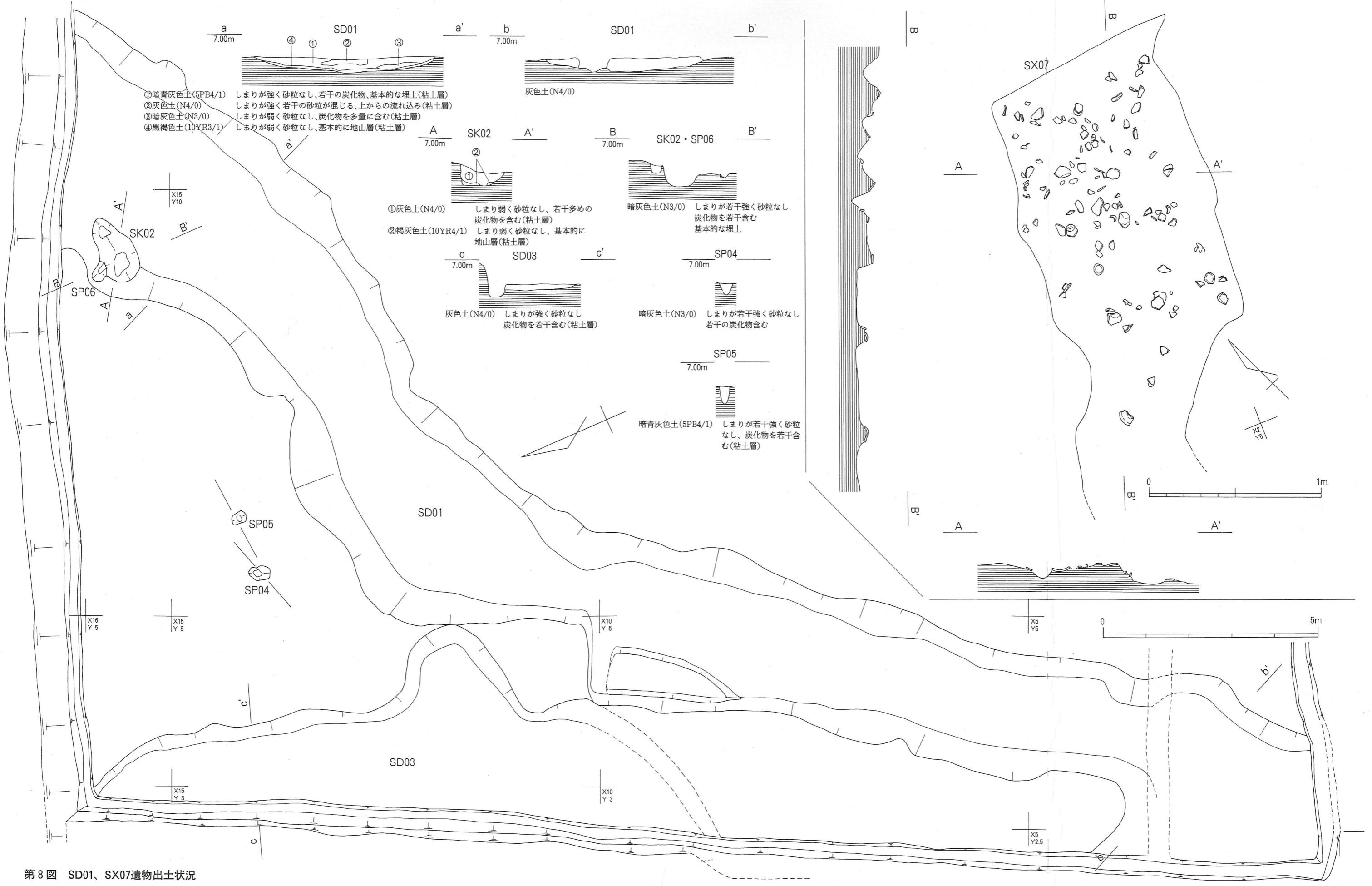
A-A', B-B'

- ① 黒褐色土(7.5YR3/1) しまりは若干弱く粘性(第2層)、基本的に土質
- ①' 灰褐色土(7.5YR4/2) 山砂、うめたて土
- ② 暗灰色土(N3/0) ①よりしまりが強い粘性、炭化物を若干含む(第3層)
- ②' 黒褐色土(10YR3/1) ②とほぼ同じだが、しまりは②ほどない、粘性は強め
- ③ 黑褐色土(5YR3/1) ①よりはしまりが有り②よりは弱い、砂質の強い粘土

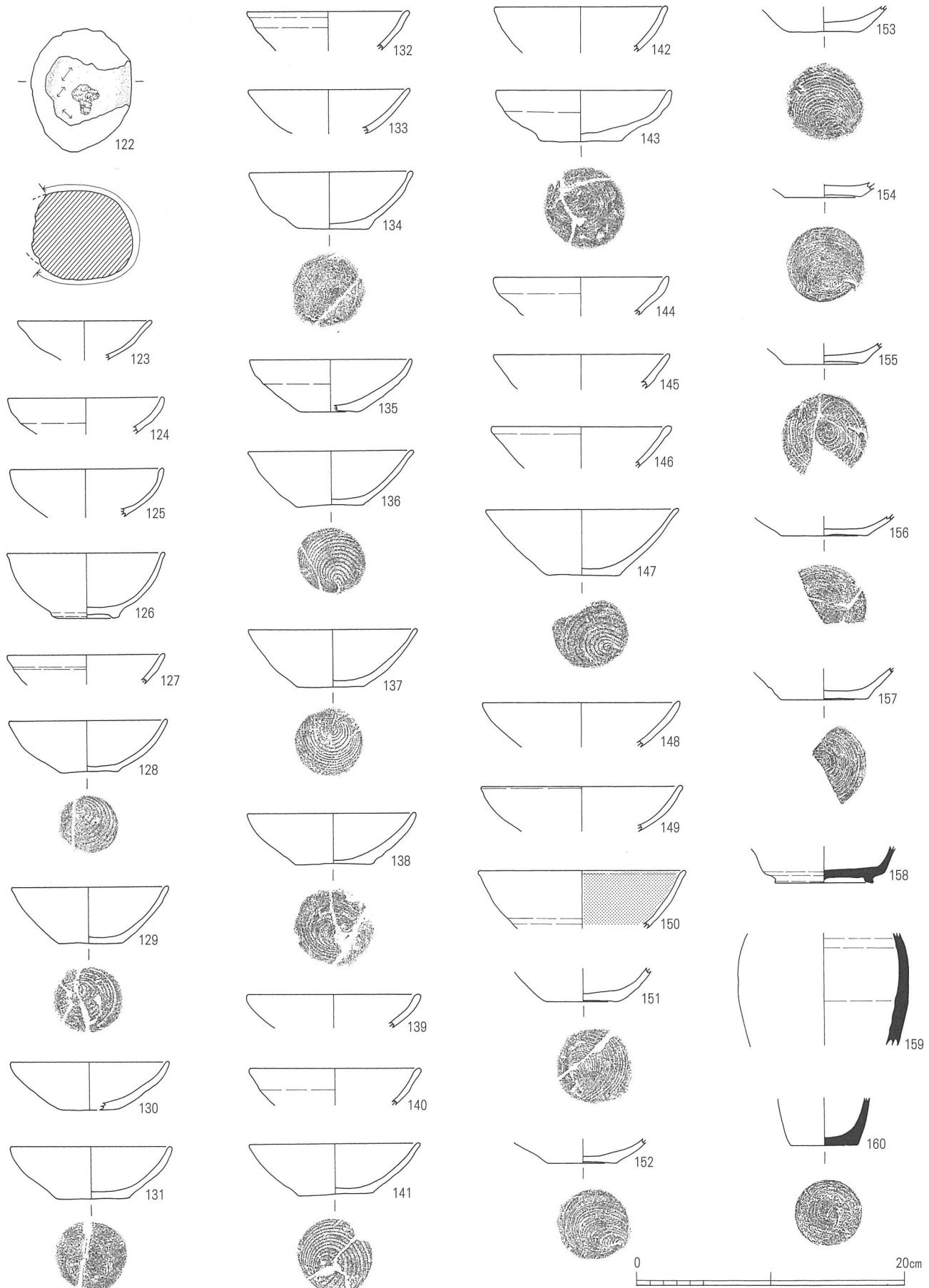
- ③' 褐灰色土(5YR4/1) ③より粘質の強い粘土層
- ④ 暗灰色土(N3/0) ③より粘性は強いが②よりは弱い、③ほどしまりはなし
- ⑤ 暗灰色土(N3/0) ②より若干粘質が強い、しまりは②よりも強い(砂層)
- ⑥ 黑褐色土(7.5YR3/1)  $\phi$  cm大の礫及びもみがら等を多量に含む、暗礫の覆土
- ⑦ 黑褐色土(7.5YR3/1) ②と同じ



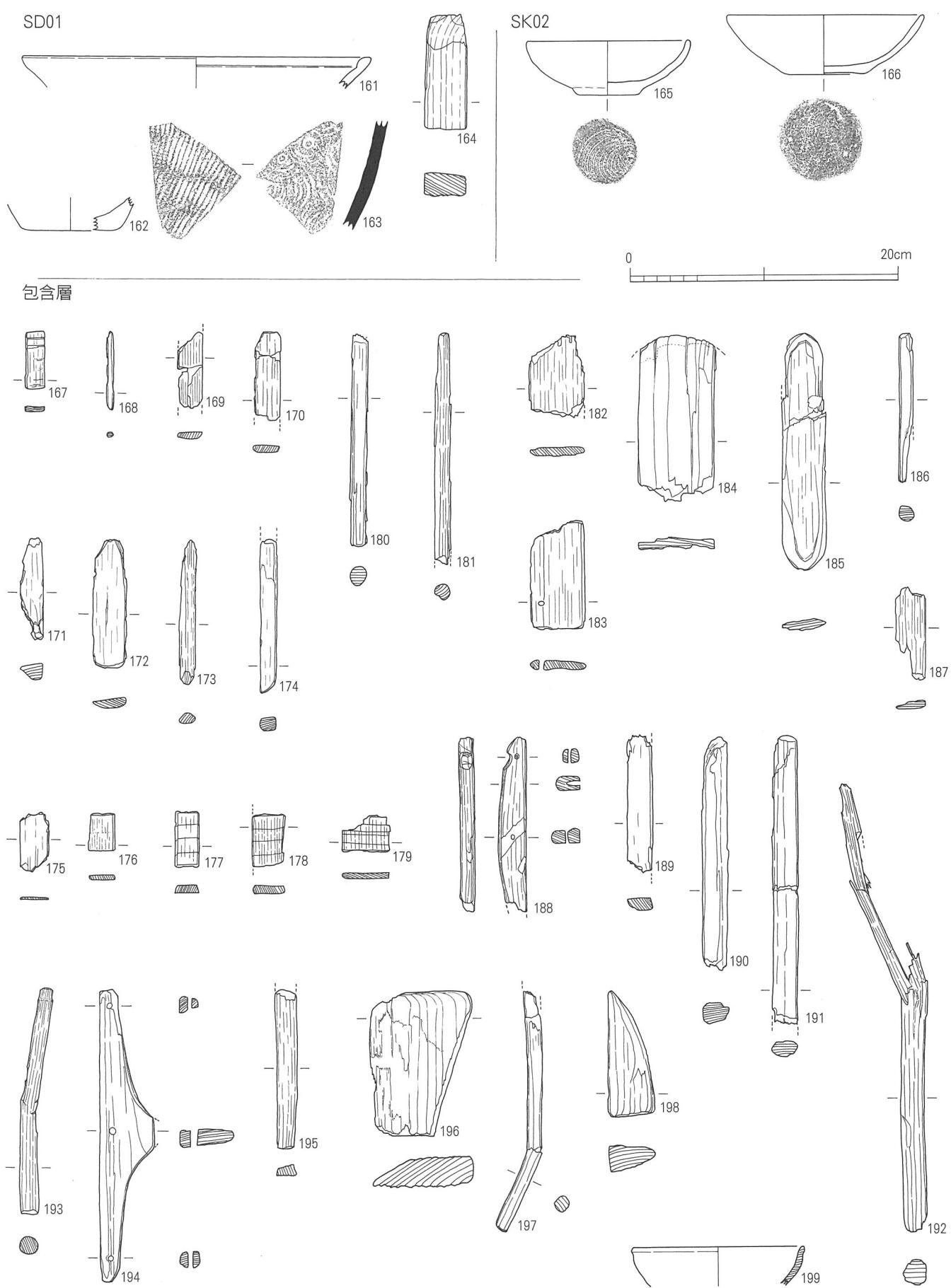
第7図 遺構配置図(1:200)



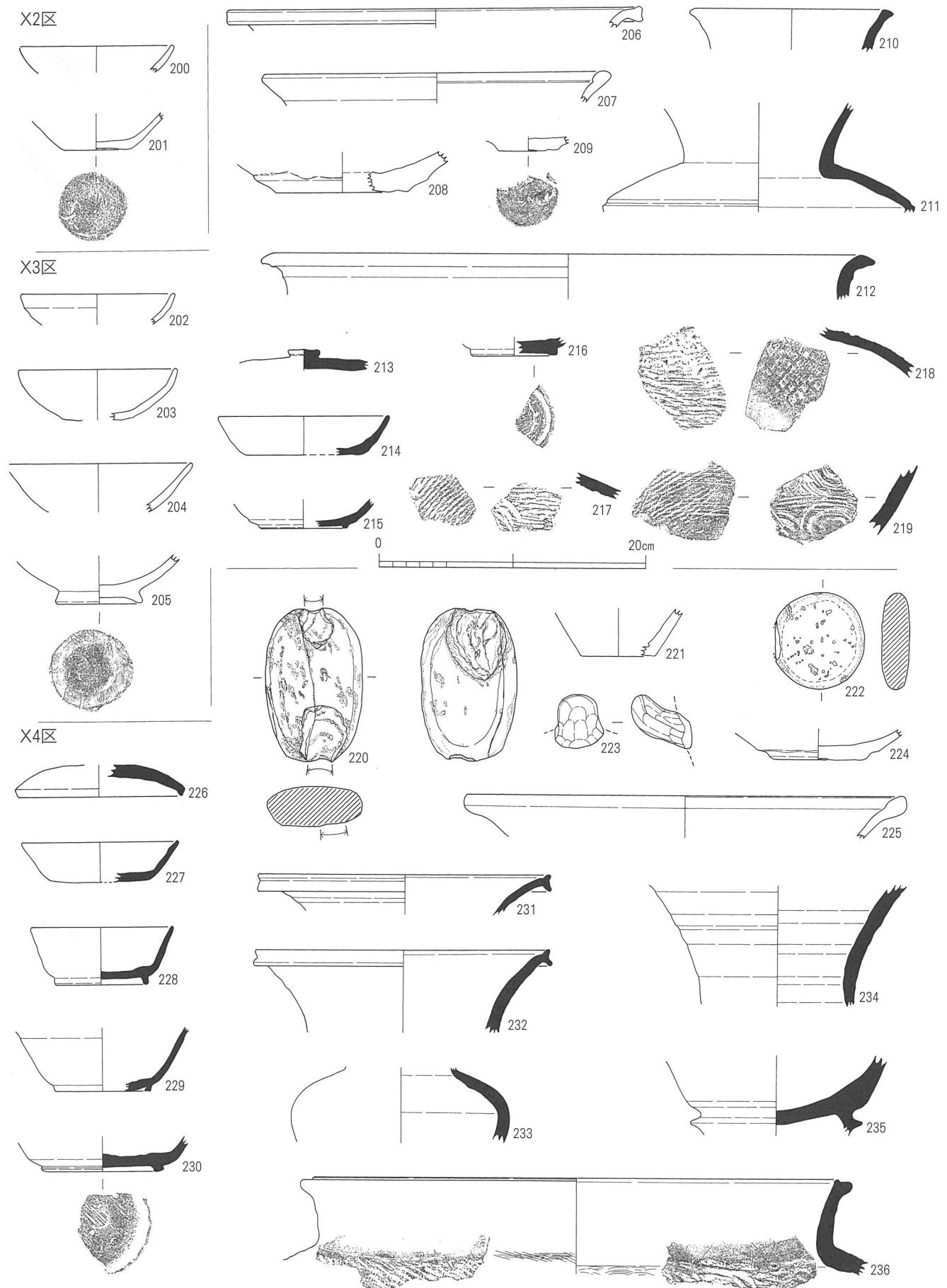
第8図 SD01、SX07遺物出土状況



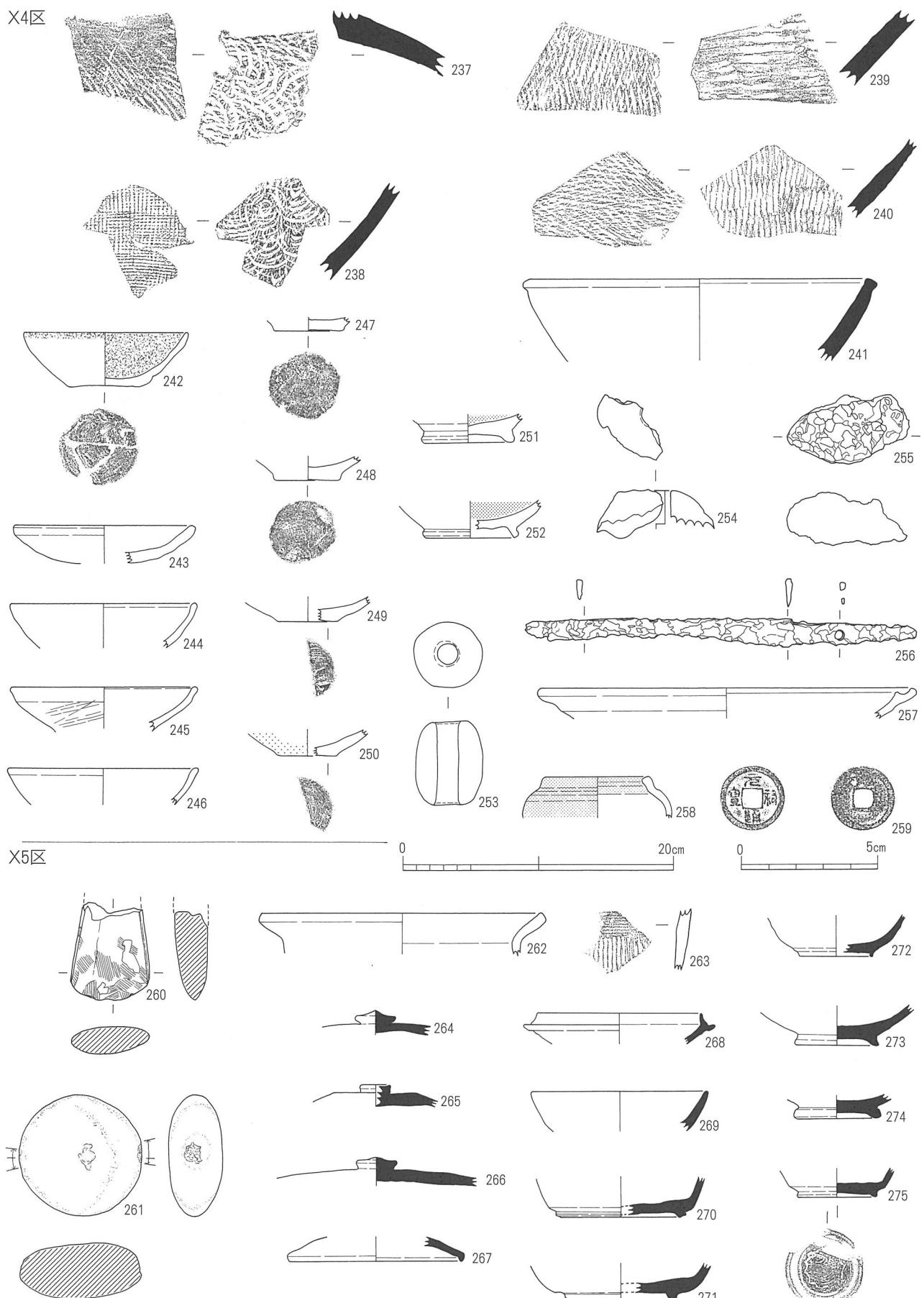
第9図 SX07出土遺物



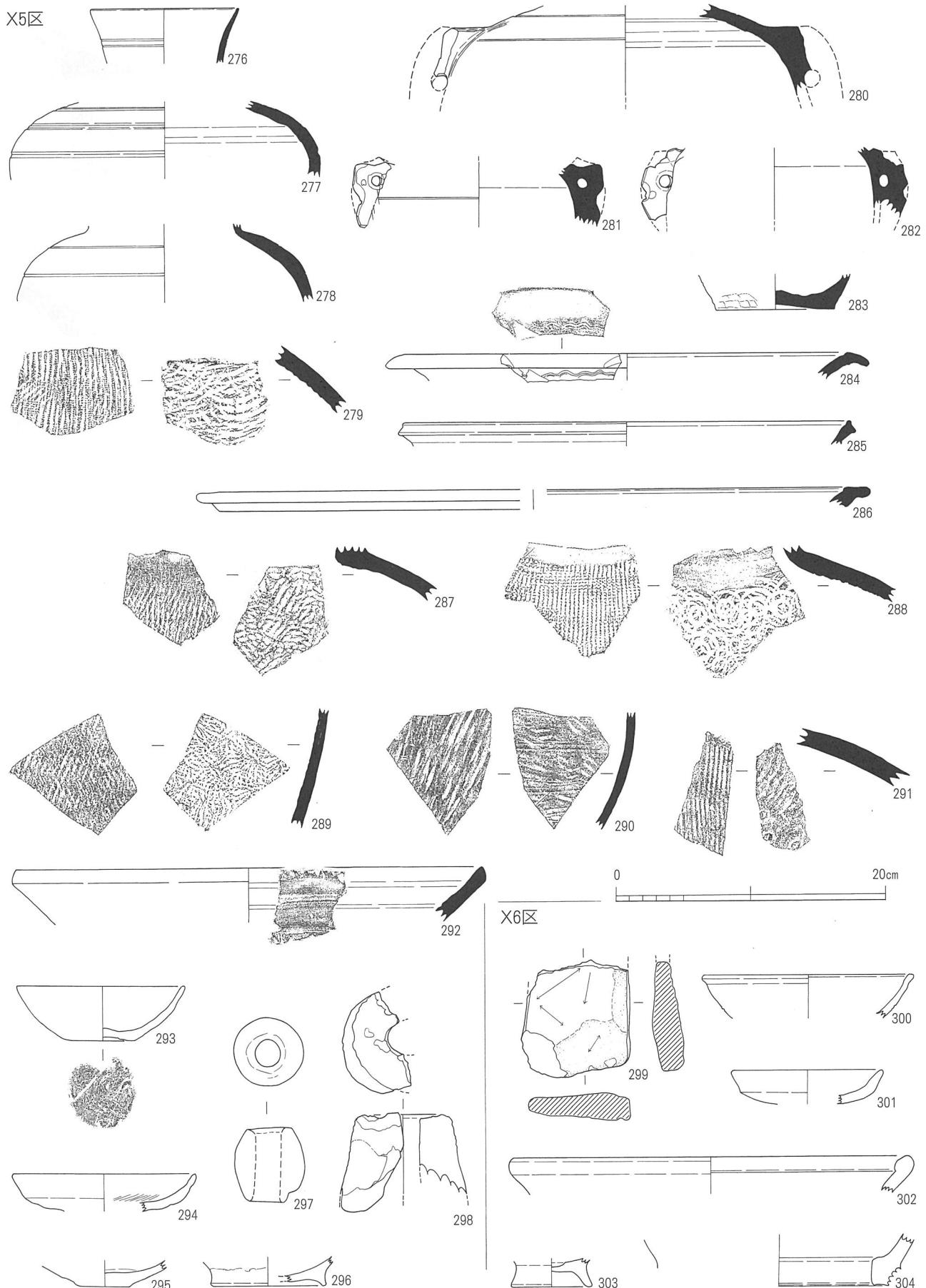
第10図 SD01・SK02、包含層出土遺物



第11図 包含層出土遺物(X2~4区)

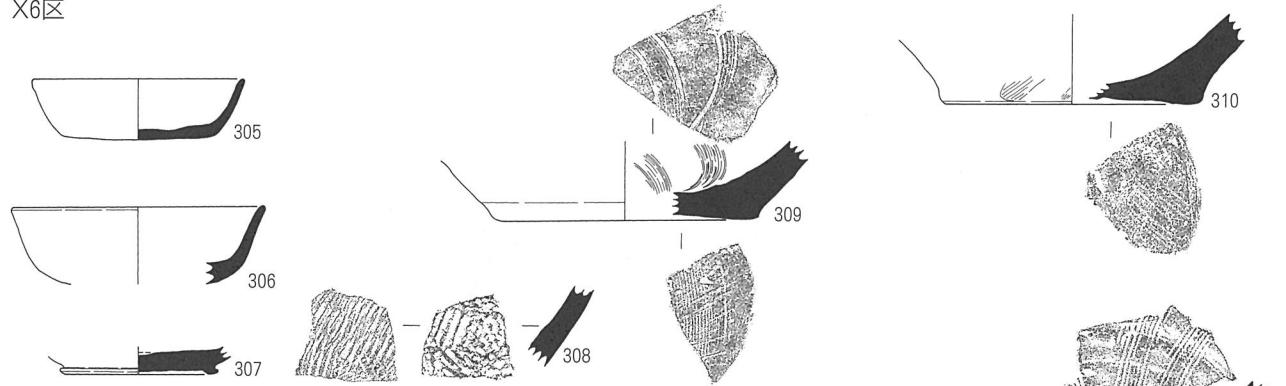


第12図 包含層出土遺物(X4・5区)

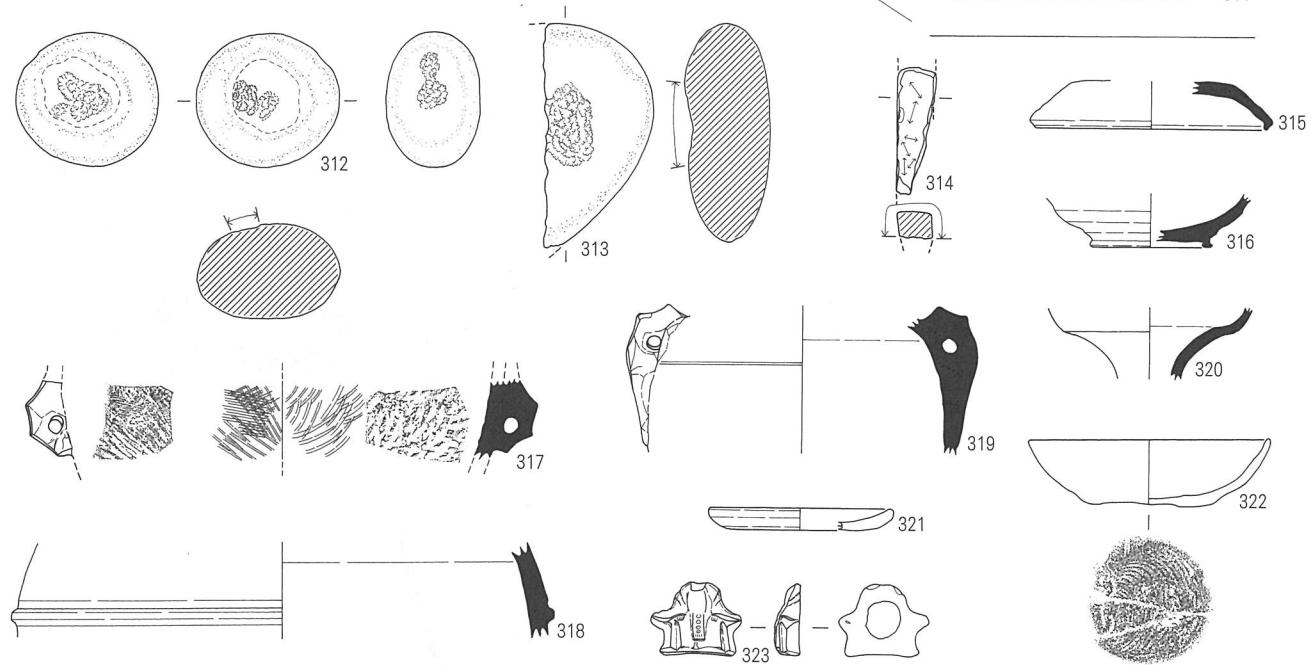


第13図 包含層出土遺物(X5・6区)

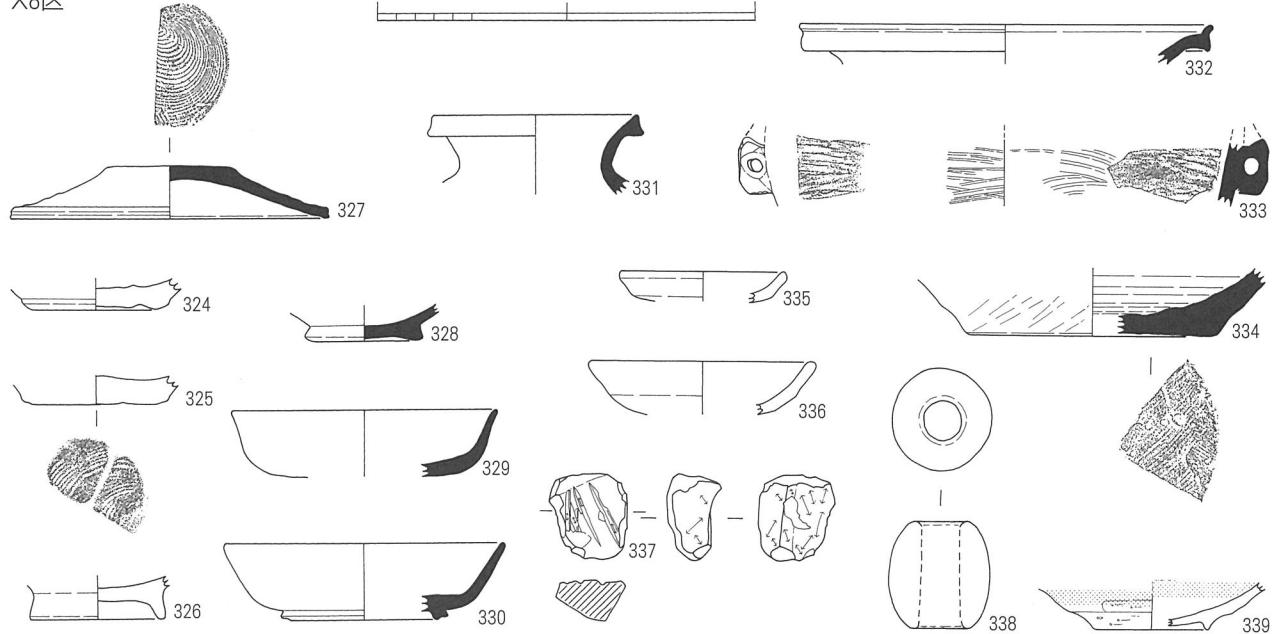
## X6区



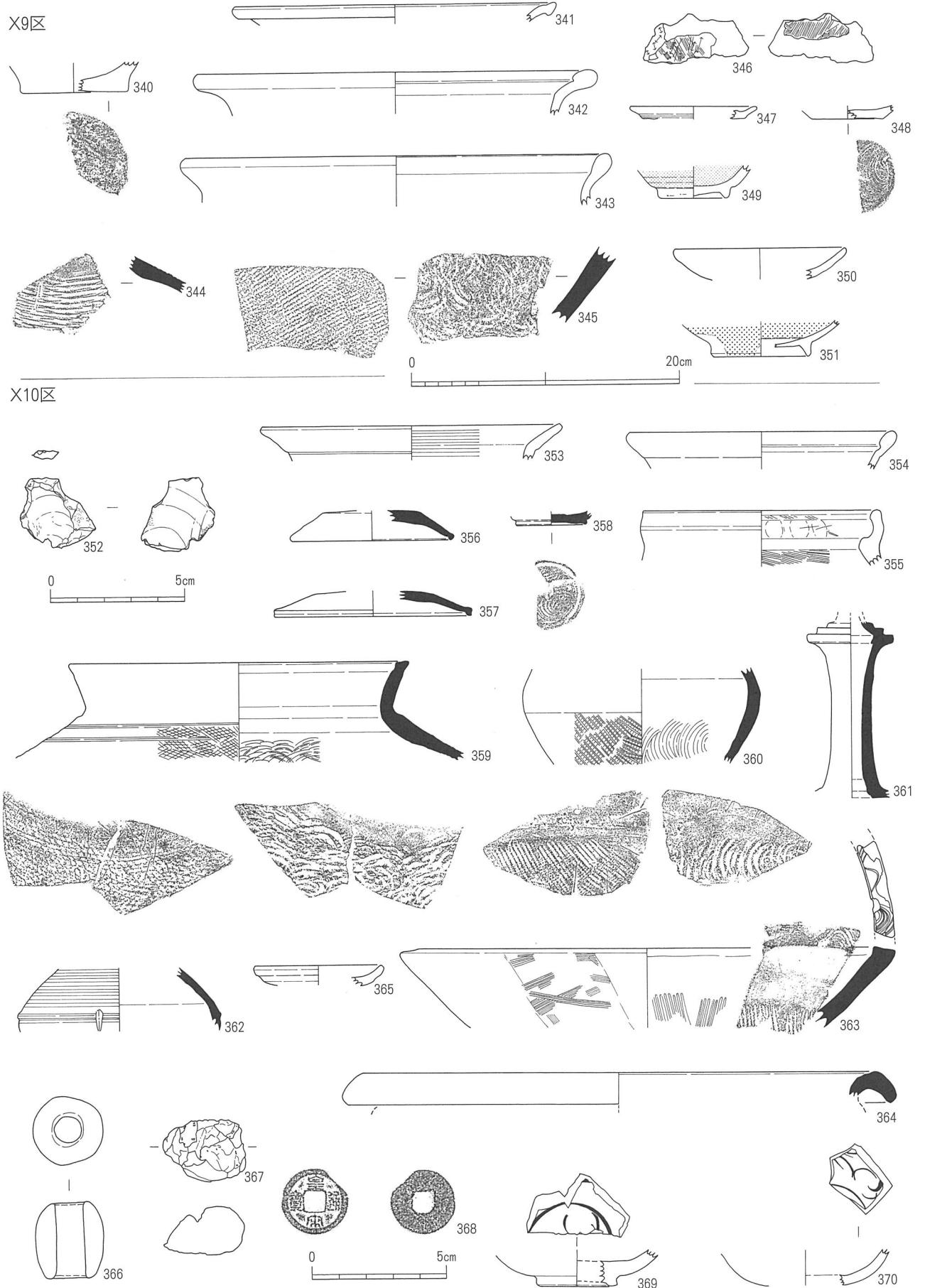
## X7区



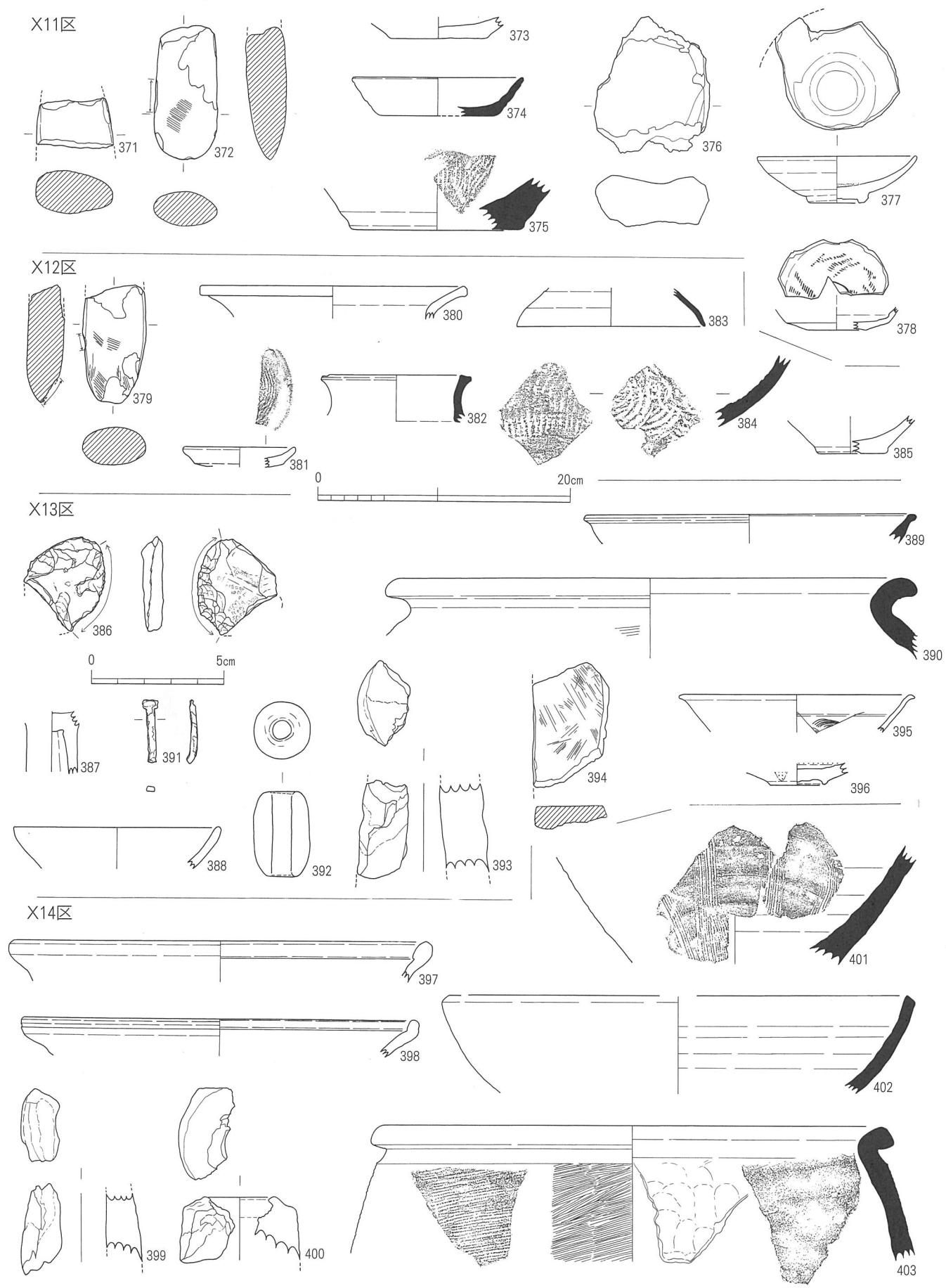
## X8区



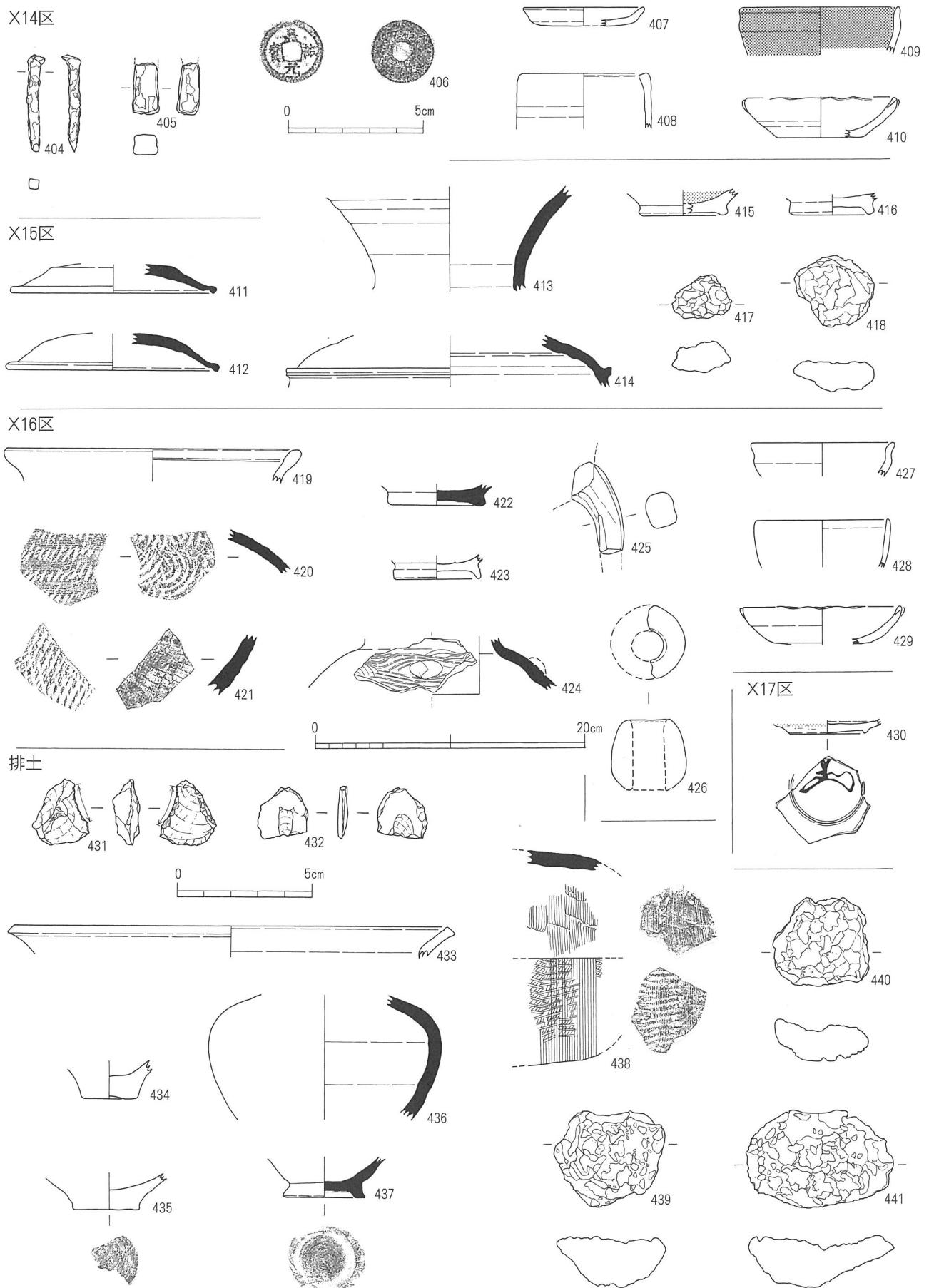
第14図 包含層出土遺物(X6~8区)



第15図 包含層出土遺物(X9・10区)



第16図 包含層出土遺物(X11~14区)



第17図 包含層出土遺物(X14~17区、排土)

図版	No.	遺構・出土区	種類	器種	口径(cm)	器高(cm)	底部(cm)	備考	残存量
第3図	1	6トレンチ	須恵器	甕(壺)			8.0	焼成不良	底部1/5
	2	6トレンチ	越中瀬戸	香炉			7.2	内面タール付着 灰釉	底部1/4
	3	9トレンチ	須恵器	壺			6.0		底部1/3
	4	12トレンチ	古式土師器	蓋	4.9			つまみ径	つまみ部ほぼ完存
	5	11トレンチ	石製品	石斧					
	6	11トレンチ	木製品	弓状製品				アスナロ	
	7	11トレンチ	木製品	下駄				スギ	
	8	11トレンチ	木製品	板状製品				スギ	
	9	10トレンチ	木製品	板状製品				スギ	
	10	14トレンチ	須恵器	壺			7.8		底部1/3
	11	14トレンチ	珠洲	甕			15.5		底部1/4
	12	14トレンチ	越中瀬戸				4.3	内外面一部タール付着 鉄釉	底部1/2
	13	15トレンチ	須恵器	壺蓋	(24.0)				口縁部1/4
	14	15トレンチ	須恵器	壺	10.7	4.2	6.2		口縁部1/9 底部1/2
	15	15トレンチ	須恵器	壺			5.9		底部1/4
	16	15トレンチ	須恵器	壺			7.1		底部ほぼ完存
	17	15トレンチ	須恵器	壺	11.3	4.3	7.2		口縁部1/10 底部2/3
	18	15トレンチ	須恵器	壺			6.9		底部ほぼ完存
	19	15トレンチ	須恵器	壺			7.6		底部1/7
	20	15トレンチ	須恵器	壺	13.8				口縁部1/8
	21	15トレンチ	須恵器	壺			9.6		底部1/4
	22	15トレンチ	須恵器	壺			8.7		底部1/3
	23	15トレンチ	須恵器	壺			12.8	自然釉	底部1/4
	24	15トレンチ	須恵器	壺				ヘラ記号?	底部1/4
	25	15トレンチ	須恵器	壺					底部1/4
	26	15トレンチ	須恵器	壺			9.1	ヘラ記号	底部2/3
	27	15トレンチ	古式土師器		(20.8)				口縁部1/12
	28	15トレンチ	弥生土器	壺					体部1/2
	29	15トレンチ	古式土師器	甕	14.8			外面煤付着	口縁部2/5 体部1/2
	30	15トレンチ	土師器	壺			5.6	内面黒色	底部1/3
第4図	31	16トレンチ	須恵器	壺蓋	10.8				口縁部1/12
	32	16トレンチ	須恵器	壺	14.9				口縁部1/4
	33	16トレンチ	須恵器	壺			7.1		底部1/3
	34	17トレンチ	須恵器	壺蓋	12.8	1.3		全体に歪みあり	4/5
	35	17トレンチ	須恵器	壺蓋	11.9				口縁部1/12
	36	17トレンチ	須恵器	壺				自然釉	破片
	37	17トレンチ	須恵器	壺	12.0	2.9			1/4
	38	17トレンチ	須恵器	壺			10.4		底部1/5
	39	17トレンチ	須恵器	壺			6.8		底部1/2
	40	17トレンチ	須恵器	壺	12.0	(2.9)		焼成不良	1/8
	41	17トレンチ	須恵器	壺			8.9		底部1/3
	42	17トレンチ	須恵器	壺	11.8	3.0			1/8
	43	17トレンチ	須恵器	壺	11.9	4.5	8.5		ほぼ完存
	44	17トレンチ	須恵器	壺	12.2	4.7	8.1		1/4
	45	17トレンチ	須恵器	壺	15.1				口縁部1/8
	46	17トレンチ	珠洲	片口鉢					破片
	47	17トレンチ	須恵器	壺	13.0	3.0		焼成不良	1/5
	48	17トレンチ	須恵器	壺			8.1		底部1/5
	49	17トレンチ	須恵器	壺			8.7		底部1/2
	50	17トレンチ	須恵器	壺			9.8		底部1/7
	51	17トレンチ	須恵器	壺	12.6	3.0			1/2
	52	17トレンチ	須恵器	壺	11.9	(3.1)		焼成不良	口縁部わずか 底部1/2
	53	17トレンチ	須恵器	壺	10.8	3.4			1/4
	54	17トレンチ	土師器	甕	17.7				口縁部1/10
	55	17トレンチ	土師器	甕?	29.6			煤付着	口縁部1/20
	56	17トレンチ	土師器	甕(壺)			11.1		底部1/4
	57	17トレンチ		壺	11.9				口縁部1/5
	58	17・18トレンチ	須恵器	壺	12.1	(2.7)		焼成不良	1/3
	59	18トレンチ	須恵器	壺蓋	12.6	3.1			1/4
	60	18トレンチ	須恵器	壺蓋	11.6			墨書「富」	口縁部1/6
	61	18トレンチ	須恵器	壺			7.0		底部1/4
	62	17・18トレンチ	須恵器	横瓶					破片
	63	18トレンチ	須恵器	甕					破片
	64	18トレンチ	須恵器	甕					破片
	65	18トレンチ	須恵器	甕					破片
	66	19トレンチ	珠洲	甕	24.1				口縁部1/8
	67	24トレンチ	須恵器	壺			10.2		底部1/5
	68	27トレンチ	珠洲	甕			13.0		底部1/6
第5図	69	30トレンチ	古式土師器	甕	14.1				口縁部1/8
	70	30トレンチ	弥生土器	甕	17.4				口縁部1/16
	71	30トレンチ	古式土師器	甕	14.4				口縁部1/16
	72	30トレンチ	古式土師器	甕	16.0				口縁部1/4
	73	30トレンチ	古式土師器	高壺	19.6				口縁部1/5
	74	30トレンチ	古式土師器	高壺					破片
	75	30トレンチ	古式土師器	高壺			17.3	脚径	脚部1/4
	76	30トレンチ	古式土師器	壺	12.6				口縁部1/8
	77	30トレンチ	古式土師器	壺(甕)			5.5		底部完存
	78	30トレンチ	古式土師器	壺(甕)			4.7		底部完存
	79	30トレンチ	須恵器	壺			7.4		底部1/2

第2表 出土遺物観察表

図版	No.	遺構・出土区	種類	器種	口径(cm)	器高(cm)	底部(cm)	備 考	残存量
第5図	80	31トレンチ	土師器	鉢	26.8				口縁部1/16
	81	31トレンチ	越中瀬戸					内外面鉄釉	
	82	32トレンチ	弥生土器	壺	12.7				口縁部1/5
	83	32トレンチ	古式土師器	甕	23.0				口縁部1/8
	84	32トレンチ	古式土師器	壺	17.0				口縁部1/16
	85	32トレンチ排土 22トレンチ	古式土師器	壺	8.3	8.6		小型土器	1/2
	86	32トレンチ		高坏or壺?			14.6	脚径	脚部1/12
	87	32トレンチ	須恵器	甕					破片
	88	33トレンチ	中世土師器	燈明皿	7.6	2.1			1/6
	89	33トレンチ	須恵器	坏蓋	19.4				口縁部1/12
	90	33トレンチ	須恵器	甕					破片
	91	34トレンチ	古式土師器	高坏	18.8				坏部1/2
	92	34トレンチ	古式土師器	甕	18.6				口縁部1/4
	93	34トレンチ	古式土師器	甕	17.7				口縁部1/8
	94	34トレンチ	古式土師器	高坏	17.8				坏部1/5
	95	34トレンチ	古式土師器	高坏			8.9	脚径	脚上部完存 脚部先1/4
	96	34トレンチ	古式土師器	高坏					脚上部完存
	97	34トレンチ	古式土師器	高坏					脚上部1/2
	98	34トレンチ	古式土師器	高坏					脚上部完存
	99	34トレンチ	古式土師器	高坏or器台			14.6	脚径	脚部1/8
	100	34トレンチ	古式土師器	甕					体部上部1/8
	101	34トレンチ	須恵器	壺				自然釉	破片
	102	34トレンチ	須恵器	甕					破片
第6図	103	36トレンチ	須恵器	坏	12.7				口縁部1/8
	104	36トレンチ				5.8	内面黒色		底部1/2
	105	36トレンチ	石製品	磨製石斧					
	106	37トレンチ	土師器	坏		3.8			底部1/4
	107	39トレンチ	須恵器	坏蓋	11.8				口縁部1/6
	108	40トレンチ	土師器	壺	20.8				口縁部1/8
	109	43トレンチ	須恵器	坏蓋	12.3				口縁部1/7
	110	45トレンチ	須恵器	坏	14.8				口縁部1/8
	111	45トレンチ	土製品	土錐	5.5	5.3		胴径	1/2
	112	45トレンチ	土師器	坏?		5.8			底部ほぼ完存
	113	45トレンチ	須恵器	坏		5.8	糸切り痕		底部1/4
	114	45トレンチ				9.2	緑色の釉		底部1/4
	115	46トレンチ	須恵器	坏	12.0	3.3		ヘラ記号	口縁部1/8 底部3/5
	116	46トレンチ	須恵器	坏	(15.3)				口縁部1/8
	117	46トレンチ	須恵器	坏			7.8		底部1/5
	118	46トレンチ	須恵器	坏	10.7	4.1	7.0	墨書「富」	1/2
	119	46トレンチ	須恵器	はそう					破片
	120	46トレンチ	珠洲	片口鉢			13.1		底部1/4
	121	不明	金属製品					銅製品	
第9図	122	SX07	石製品	磨石 敲石					
	123	SX07	土師器	坏	9.8				口縁部1/6
	124	SX07 SX07一括	土師器	坏	11.2				口縁部1/4
	125	SX07 SX07一括	土師器	坏	11.2				口縁部1/4
	126	SX07	土師器	坏	11.4	4.8	4.9	煤付着	1/5
	127	SX07	土師器	坏	11.4				口縁部1/5
	128	SX07	土師器	坏	11.4	3.8	4.7	糸切り痕	1/2
	129	SX07一括 X2Y5	土師器	坏	11.5	4.2	4.7	糸切り痕	口縁部1/24 底部完存
	130	SX07 X3Y6 SX07一括	土師器	坏	11.6	3.6	4.2		1/4
	131	SX07 SX07一括	土師器	坏	11.6	3.9	5.3	糸切り痕 煤付着	1/4
	132	SX07 SX07一括	土師器	坏	11.8				口縁部1/8
	133	SX07	土師器	坏	11.8				口縁部1/4
	134	SK02 X2~4Y4 SX07	土師器	坏	11.8	4.2	5.3	糸切り痕	3/4
	135	SX07	土師器	坏	11.8	3.9	4.4	糸切り痕	1/4
	136	SX07	土師器	坏	11.9	4.0	5.0	糸切り痕	1/3
	137	SX07 SX07一括	土師器	坏	12.2	4.3	4.9	糸切り痕	1/3
	138	SX07	土師器	坏	12.3	3.7	5.8	糸切り痕	1/4
	139	SX07	土師器	坏	12.4				口縁部1/5
	140	SX07 SX07一括	土師器	坏	12.4				口縁部1/5
	141	SX07 SX07一括	土師器	坏	12.5	3.8	5.5	糸切り痕	口縁部1/4 底部完存
	142	SX07	土師器	坏	12.6				口縁部1/7
	143	SX07	土師器	坏	12.8	3.8	6.1	糸切り痕	1/2
	144	SX07	土師器	坏	12.8				口縁部1/4
	145	SX07 SX07一括	土師器	坏	12.9				口縁部1/4
	146	SX07	土師器	坏	13.0				口縁部1/8

図版	No.	遺構・出土区	種類	器種	口径(cm)	器高(cm)	底部(cm)	備 考	残存量
第9図	147	SX07	土師器	壺	14.1	4.8	5.6	糸切り痕	口縁部1/24 底部ほぼ完存
	148	SX07	土師器	壺	14.4			煤付着	口縁部1/4
	149	SX07 SX07一括	土師器	壺	14.8			煤付着	口縁部1/8
	150	SX07 SX07一括	土師器	塊	15.2			内面黒色 口縁部外面一部黒色	口縁部1/8
	151	SX07	土師器	壺			5.4	糸切り痕	底部完存
	152	SX07	土師器	壺			5.3	糸切り痕	底部完存
	153	SX07一括 X4Y5	土師器	壺			5.7	糸切り痕	底部完存
	154	SX07	土師器	壺			5.9	糸切り痕	底部完存
	155	SX07 SX07一括	土師器	壺			6.2	糸切り痕	底部4/5
	156	SX07 SX07一括	土師器	壺			6.3	糸切り痕	底部1/3
	157	SX07	土師器	壺			6.5	外面赤彩痕 糸切り痕	底部1/3
	158	SX07 X3Y5・6	須恵器	壺			7.2		底部3/4
	159	SX07	須恵器	壺					破片
	160	SX07	須恵器	瓶			4.9	糸切り痕 小型土器	底部完存
	161	SD01 A区	土師器		25.6				口縁部1/16
第10図	162	SD01 B区	縄文土器			7.6			底部1/5
	163	SD01 B区	須恵器	甕					破片
	164	SD01 C区	木製品	くさび状製品	8.6	3.1	1.7	スギ	完形
	165	SK02 X5Y5 X4Y5 X5Y5	土師器	壺	11.9	4.1	5.2	糸切り痕	1/4
	166	SK02	土師器	壺	14.4	4.4	6.3	糸切り痕	1/6
	167	X4Y11	木製品	曲物	4.3	1.5	0.4	アスナロ	破片
	168	X4Y11	木製品	板状製品	5.9	0.5	0.4	スギ 焼け痕	
	169	X4Y16	木製品	板状製品	5.7	1.8	0.5	アスナロ 170と同一個体？	
	170	X4Y16	木製品	板状製品	6.6	1.9	0.5	アスナロ 169と同一個体？	
	171	X4Y15	木製品	棒状製品	7.6	1.7	1.2	ハシノキ 焼け痕	
	172	X4Y15	木製品	ヘラ状製品	9.6	2.5	0.8	スギ	完形？
	173	X4Y15	木製品	棒状製品	10.8	1.2	0.8	スギ	完形？
	174	X4Y15	木製品	棒状製品	11.5	1.2	0.9	アスナロ	
	175	X5Y15	木製品	薄板状製品	4.4	2.2	0.2	スギ	
	176	X7Y16	木製品	曲物	2.7	2.0	0.4	スギ	破片
	177	X7Y16	木製品	曲物	4.2	1.8	0.6	スギ	破片
	178	X10Y9	木製品	曲物	3.9	2.4	0.6	スギ	破片
	179	X7Y16	木製品	曲物	2.7	3.6	0.5	スギ	破片
	180	X4Y15	木製品	棒状製品	15.9	1.3	1.4	スギ	
	181	X14Y10	木製品	棒状製品	17.4	1.3	1.2	スギ	
	182	X4Y16	木製品	板状製品	6.2	4.1	0.7	スギ 183と同一個体？	
	183	X4Y16	木製品	板状製品	8.2	4.1	0.7	スギ 穿孔1箇所 182と同一個体？	
	184	X4Y11	木製品	板状製品	12.4	5.7	0.9	スギ 焼け痕	
	185	X4Y16	木製品	ヘラ状製品	17.6	3.3	0.9	スギ 折れあり	完形
	186	X5Y15	木製品	棒状製品	11.1	1.1	1.1	スギ	
	187	X5Y15	木製品	薄板状製品	7.0	2.2	0.6	スギ	
	188	X7Y12	木製品	つるべ取手	13.0	2.1	1.2	スギ 穿孔2箇所 煙付着	
	189	X7Y16	木製品	棒状製品	10.2	1.9	0.9	スギ	
	190	X13Y16	木製品	棒状製品	17.4	2.0	1.6	スギ 焼け痕	
	191	X9Y10	木製品	棒状製品	21.6	1.9	1.2	スギ	
	192	X10Y16	木製品	棒状製品	33.4	1.7	1.9	スギ 折れあり	完形
	193	X5Y17	木製品	棒状製品	16.9	Φ1.4		スギ 折れあり	
	194	X5Y16	木製品	山型状製品	21.9	4.1	1.3	アスナロ 穿孔3箇所 焼け痕	完形
	195	X7Y15	木製品	棒状製品	11.9	1.7	0.8	アスナロ	
	196	X8Y7	木製品	板状製品	10.8	7.6	2.1	スギ	完形？
	197	X9Y16	木製品	棒状製品	17.9	1.1	1.2	スギ	
	198	X12Y16	木製品	角状製品	9.5	3.5	1.9	スギ	完形
	199	X14Y4	木製品	椀	12.7			ケヤキ 漆 口径	口縁部1/16
第11図	200	X2Y5	土師器	壺	11.4				口縁部1/8
	201	X2Y3	土師器	壺			5.0	煤付着 糸切り痕	底部完存
	202	X3Y5・6	土師器	壺	11.4				口縁部1/7
	203	X3Y6	土師器	壺	11.7	3.8			口縁部1/5
	204	X3Y8	土師器	壺	13.8				口縁部1/8
	205	X3Y16	土師器	?			6.5	糸切り痕	底部完存
	206	X3Y16	土師器		30.6				口縁部1/16
	207	X3Y5	土師器	鉢?	25.4				口縁部1/24
	208	X3Y7	土師器?				9.9		底部1/4
	209	X3Y16	土師器	皿?			4.5	糸切り痕	底部2/3
	210	X3Y5・6	須恵器	瓶	14.0			自然釉	口縁部1/9
	211	X3Y14	須恵器	壺				自然釉	
	212	X3Y5・6	珠洲	甕	43.8			自然釉	口縁部1/10
	213	X3Y12	須恵器	壺蓋	2.4			つまみ怪	つまみ部完存
	214	X3Y15	須恵器	壺	12.6	2.9			1/5
	215	X3Y16	須恵器	壺			6.6		底部1/4
	216	X3Y5	須恵器	壺			6.4	糸切り痕	底部1/4
	217	X3Y7	須恵器	甕					破片

図版	No.	遺構・出土区	種類	器種	口径(cm)	器高(cm)	底部(cm)	備考	残存量
第11図	218	X3Y13	須恵器	甕					破片
	219	X3Y9・10	須恵器	甕					破片
	220	X4Y12	石製品	石錘(打欠)					
	221	X4Y16	縄文土器	深鉢			5.8		底部1/5
	222	X4Y16	石製品	磨石					
	223	X4Y16	土師器	持ち手					
	224	X4Y16	土師器?				7.2		底部1/2
	225	X4Y10	土師器	鉢or鍋	32.4				口縁部1/16
	226	X4Y3	須恵器	壺蓋	12.2				口縁部1/4
	227	X4Y16	須恵器	壺	11.6	3.0			口縁部1/16 底部1/2
	228	X2.5Y8 X4Y8 X4Y10	須恵器	壺	10.6		7.0		1/2
	229	X4Y16	須恵器	壺			7.3		底部1/3
	230	X4Y15	須恵器	壺			9.2		底部1/4
	231	X4Y11	須恵器	双耳瓶	21.6				口縁部1/24
	232	X4Y16	須恵器	双耳瓶	21.7			自然釉	口縁部1/16
	233	X4Y15	須恵器	壺				自然釉	破片
	234	X4Y15	須恵器	双耳瓶					
	235	X4Y16	須恵器	壺			12.8		底部1/2
	236	X4Y16 X6Y16	須恵器	甕	39.0			自然釉	口縁部1/18
	237	X4Y16	須恵器	甕					破片
第12図	238	X4Y12 X7Y16	須恵器	甕					破片
	239	X4Y16	須恵器	甕					破片
	240	X4Y15	須恵器	甕					破片
	241	X4Y11	須恵器		24.7			自然釉	口縁部1/12
	242	X4Y5	土師器	壺	11.8	4.0	6.2	口縁部内外面タール付着 糸切り痕	ほぼ完形
	243	X4Y6	土師器	壺	13.0			外面煤付着	口縁部1/4
	244	X4Y5	土師器	壺	13.4				口縁部1/8
	245	X4Y16	土師器	壺	13.4				口縁部1/8
	246	X4Y12	土師器	壺	13.6				口縁部1/8
	247	X4Y16	土師器	壺			5.2	糸切り痕	底部完存
	248	X4Y16	土師器	壺			4.8	糸切り痕	底部完存
	249	X4Y16	土師器	壺			4.5	糸切り痕	底部1/4
	250	X4Y16	土師器	壺			4.2	外面一部赤彩 糸切り痕	底部1/3
	251	X4Y16	土師器	壺			6.8	内面黒色	底部1/3
	252	X4Y16	土師器	壺			7.0	内面黒色	底部1/2
	253	X4Y15	土製品	土錘	5.0	6.1		胴径	完形
	254	X4Y16	土製品	フイゴの羽口					
	255	X4Y12	鉄滓						
	256	X4Y3	金属製品	刀子					
	257	X4Y13	古瀬戸	鉢	(27.1)			15世紀後半	口縁部1/20
	258	X4Y13	越中瀬戸	壺	7.5			鉄釉	口縁部1/8
	259	X4Y15	金属製品	輸入銭				「元祐通寶」 1086年	
	260	X5Y16	石製品	磨製石斧					
	261	X5Y16	石製品	敲石					
	262	X5Y16	土師器	甕	20.4				口縁部1/16
	263	X5Y9	土師器	甕					破片
	264	X5Y3	須恵器	壺蓋	2.9			つまみ径	つまみ部完存
	265	X5Y12	須恵器	壺蓋					
	266	X5Y17	須恵器	壺蓋	3.0			つまみ径	つまみ部完存
	267	X5Y17	須恵器	壺蓋	12.4				口縁部1/9
	268	X5Y3	須恵器	壺	12.0				口縁部1/8
	269	X5Y17	須恵器	壺	12.8			内外面煤付着	口縁部1/5
	270	X5Y8	須恵器	壺			9.6		底部1/4
	271	X5Y9	須恵器	壺			8.1		底部1/2
	272	X5Y16	須恵器	壺			5.4		底部1/3
	273	X5Y15 X5Y16	須恵器	壺			6.1		底部ほぼ完存
	274	X5Y16	須恵器	壺			6.3		底部ほぼ完存
	275	X5Y14	須恵器	壺			5.8	糸切り痕	底部5/6
第13図	276	X5Y16	須恵器	壺	10.8				口縁部1/8
	277	X5Y12 X13Y12	須恵器	壺					破片
	278	X5Y16	須恵器	壺				自然釉	破片
	279	X5Y15	須恵器	甕					破片
	280	X5Y14	須恵器	双耳瓶					破片
	281	X5Y16	須恵器	双耳瓶					破片
	282	X5Y8	須恵器	双耳瓶				自然釉	破片
	283	X5Y16	須恵器	壺			10.6	内面自然釉	底部1/8
	284	X5Y9	須恵器	甕	32.8				口縁部1/10
	285	X5Y15	須恵器	甕	32.9				口縁部1/24
	286	X5Y9	須恵器	甕	(49.7~)			自然釉	破片
	287	X5Y16	須恵器	甕					破片
	288	X5Y9	須恵器	甕					破片
	289	X5Y14	須恵器	甕					破片
	290	X5Y17	須恵器	甕					破片
	291	X5Y17	須恵器	甕					破片
	292	X5Y14	珠洲	片口鉢	34.3				口縁部1/22
	293	X5Y5	土師器	壺	11.2	4.0	5.1	糸切り痕	1/4

図版	No.	遺構・出土区	種類	器種	口径(cm)	器高(cm)	底部(cm)	備考	残存量
第13図	294	X5Y5	土師器		13.4				口縁部1/5
	295	X5Y15	土師器	壺			4.4	内面煤付着	底部1/2
	296	X5Y14	土師器	壺?			8.6		底部1/4
	297	X5Y15	土製品	土錘	5.1	5.5		胴径	完形
	298	X5Y16	土製品	片口鉢					
	299	X6Y16	石製品	石皿?					
	300	X6Y4	土師器	壺	15.4				口縁部1/12
	301	X6Y6 X11Y6	中世土師器	皿	11.0				口縁部1/4
	302	X6Y4	土師器		29.3				口縁部1/20
	303	X6Y14	土師器	壺?			6.0	糸切り痕	底部1/3
	304	X6Y14	土師器						底部1/8
	305	X6Y8 X9Y9 X14Y5	須恵器	壺	11.1	3.2			1/4
	306	X6Y16	須恵器	壺	13.3				1/6
第14図	307	X6Y5	須恵器	壺			8.4		底部1/4
	308	X6Y5	須恵器	甕					破片
	309	X6Y3・4	珠洲	片口鉢			14.0		底部1/5
	310	X6Y3	珠洲	片口鉢			13.7		底部1/6
	311	X6Y4	珠洲	片口鉢			13.9		底部1/5
	312	X7Y16	石製品	磨石 敲石					
	313	X7Y16	石製品	敲石					
	314	X7Y8	石製品	砥石					
	315	X7Y10	須恵器	壺蓋	12.0				口縁部1/8
	316	X7Y8 X13Y11	須恵器	壺			6.4		底部2/3
	317	X7Y5	須恵器	双耳瓶				自然釉	破片
	318	X7Y16	須恵器	双耳瓶				自然釉	破片
	319	X7Y15	須恵器	双耳瓶					破片
	320	X7Y16	須恵器	はそう					破片
	321	X7Y16	中世土師器	皿	9.4				口縁部1/5
	322	X7Y5	土師器	壺	12.5	3.4	6.7	糸切り痕	ほぼ完形
	323	X7Y10	土製品	土人形					天神様 18~19世紀
	324	X8Y16	土師器				7.8		底部1/2
	325	X8Y12 X9Y10	土師器				6.7	内面煤付着 糸切り痕	底部1/2
	326	X8Y10	土師器	鍋or鉢			7.2		底部完存
	327	X8Y9	須恵器	壺蓋	16.6	2.8		糸切り痕	1/4
	328	X8Y15	須恵器	壺			6.2		底部ほぼ完存
	329	X8Y12	須恵器	壺	13.8			自然釉	1/6
	330	X8Y13	須恵器	壺	14.7	4.0	8.8		1/8
	331	X8Y16	須恵器	双耳瓶	10.6			自然釉	口縁部1/5
	332	X8Y7	須恵器	双耳瓶	21.6				口縁部1/11
	333	X8Y16	須恵器	双耳瓶				自然釉	破片
	334	X8Y7	珠洲	片口鉢			13.2		底部1/5
	335	X8Y6	中世土師器	皿	8.6				口縁部1/8
	336	X8Y7	土師器	壺	11.6				口縁部1/4
	337	X8Y13	石製品	砥石					
	338	X8Y10	土製品	土錘	5.3	5.6		胴径	完形
	339	X8Y7	越中瀬戸	皿			5.9	鉄釉	底部1/4
第15図	340	X9Y16	縄文土器	深鉢			8.0	網代状圧痕	底部1/3
	341	X9Y16	土師器		23.6				口縁部1/16
	342	X9Y5	土師器		29.2				口縁部1/24
	343	X9Y16	土師器		31.2				口縁部1/16
	344	X9Y16	珠洲	甕					破片
	345	X9Y16	須恵器	甕					破片
	346	X9Y9	石製品	砥石					
	347	X9Y18	中世土師器	皿	9.2				口縁部1/8
	348	X9Y13	土師器	壺			5.4	糸切り痕	底部1/2
	349	X9Y8	越中瀬戸	天目茶碗			5.2	鉄釉 18世紀前後	底部3/8
	350	X9Y14	唐津	皿	12.6			17世紀後半	口縁部1/8
	351	X9Y14	灰釉陶器	壺			7.0	灰釉 9世紀後半~10世紀	底部3/8
	352	X10Y4	石製品	石器				剥離片	剥片
	353	X10Y10	土師器	甕	22.0				口縁部1/16
	354	X10Y9	土師器		19.4				口縁部1/8
	355	X10Y8			17.2			指頭痕 煤付着	口縁部1/12
	356	X10Y5	須恵器	壺蓋	11.6				口縁部1/6
	357	X10Y5	須恵器	壺蓋	14.3				口縁部1/12
	358	X10Y8 X13Y12	須恵器	壺			5.3	糸切り痕	底部2/3
	359	X10Y14 X10Y17 X13Y9	須恵器	甕	25.0			自然釉	1/8
	360	X10Y5	須恵器	壺				内外面自然釉	
	361	X10Y4	須恵器	水瓶				自然釉	口縁部下完存
	362	X10Y8	須恵器	壺					破片
	363	X10Y14	珠洲	片口鉢	34.0				口縁部1/16
	364	X10Y8	珠洲	甕	38.0				口縁部1/13
	365	X10Y9	中世土師器		9.3				口縁部1/8
	366	X10Y14	土製品	土錘	5.1	5.7		胴径	4/5
	367	X10Y6	鉄滓						
	368	X10Y5	金属製品	輸入銭				「皇宋通寶」 1039年	
	369	X10Y11	青磁	碗			6.0	13世紀頃 内面草花文様	底部1/4

図版	No.	遺構・出土区	種類	器種	口径(cm)	器高(cm)	底部(cm)	備考	残存量
第15図	370	X10Y13	青磁	碗				12~13世紀	破片
	371	X11Y16	石製品	磨製石斧					
	372	X11Y9	石製品	磨製石斧					
	373	X11Y14	土師器				7.8		底部1/3
	374	X11Y14	須恵器	壺	12.6	2.9			1/8
	375	X11Y8	珠洲	片口鉢			12.5		底部1/8
	376	X11Y16	鉄滓						
	377	X11Y14	肥前陶器	皿	11.8	3.5	4.1	18世紀 内の山 銅緑釉 内面煤付着	口縁部1/16 底部完存
	378	X11Y7 排土	白磁	皿			4.2	12世紀後半~13世紀	1/2
	379	X12Y15	石製品	磨製石斧					
	380	X12Y12			19.6				口縁部1/16
	381	X12Y9	中世土師器	皿	8.2				口縁部1/4
	382	X12Y12	須恵器	横瓶	9.6			自然釉	口縁部1/6
	383	X12Y6	須恵器	壺蓋	14.2				口縁部1/8
	384	X12Y12	須恵器	甕					破片
	385	X12Y15	青磁	塊			5.4	越州窯系 9~10世紀	底部1/4
	386	X13Y7	石製品	削器					
	387	X13Y8	古式土師器	高壺				外面赤彩痕	脚上部1/3
	388	X13Y16	土師器	塊?	15.4				口縁部1/12
	389	X13Y13	須恵器		24.6				口縁部1/20
	390	X13Y9	珠洲	甕	39.9				口縁部1/9
	391	X13Y9	金属製品	釘					
	392	X13Y16	土製品	土鍤	4.2	6.4		胴径	7/8
	393	X13Y12	土製品	フィゴの羽口					
	394	X13Y9	石製品	砥石					
	395	X13Y7	白磁	皿	17.1			12~13世紀	口縁部1/9
	396	X13Y12	越中瀬戸	皿			4.0	灰釉 気泡あり	底部1/2
	397	X14Y12	土師器	甕	31.2				口縁部1/24
	398	X14Y12	土師器	甕	29.5				口縁部1/24
	399	X14Y12	金属製品	フィゴの羽口					
	400	X14Y4	金属製品	フィゴの羽口					
	401	X14Y10 X16Y5 46トレンチ	珠洲	片口鉢					
	402	X14Y14	珠洲	片口鉢	(34.6)				口縁部1/12
	403	X14Y7 X14Y13	珠洲	甕	37.4				口縁部1/7
第16図	404	X14Y8	金属製品	釘					
	405	X14Y8	金属製品	たがね状					
	406	X14Y8	金属製品	輸入銭				「嘉祐元寶」 1056年	
	407	X14Y13	中世土師器	皿	8.8				口縁部1/8
	408	X14Y10	古瀬戸	香炉	9.2			15世紀	口縁部1/4
	409	X14Y10	越中瀬戸	天目茶碗	11.5				口縁部1/9
	410	X14Y10	陶器	皿	11.3			在地産 19世紀頃	口縁部1/10
	411	X15Y13	須恵器	壺蓋	14.9				口縁部1/8
	412	X15Y10	須恵器	壺蓋	15.6				口縁部1/11
	413	X15Y13	須恵器	双耳瓶					破片
	414	X15Y9	須恵器	双耳瓶					破片
	415	X15Y16	土師器	塊			6.6	内面黒色	底部1/2
	416	X15Y6	土師器	塊			6.3		底部3/4
	417	X15Y5	鉄滓						
	418	X15Y5	鉄滓						
	419	X16Y12	土師器	甕	21.6				口縁部1/16
	420	X16Y8	須恵器	甕					破片
	421	X16Y9	須恵器	甕					破片
	422	X16Y16	須恵器	壺			7.2	糸切り痕	底部1/4
	423	X16Y16	土師器	塊			6.4		底部1/3
	424	X16Y13	珠洲	壺					破片
	425	X16Y9	土師器	足釜					
	426	X16Y12	土製品	土鍤	(5.5)	(5.2)		胴径	1/2
	427	X16Y14	古瀬戸	小型天目茶碗	10.4			16世紀後半	口縁部1/10
	428	X16Y7	陶器	塊	9.6			在地産 19世紀前後	口縁部1/10
	429	X16Y7	陶器	皿	12.2			在地産 19世紀前後	口縁部1/10
第17図	430	X17Y8 排水溝	越中瀬戸				5.5	墨書き土器 鉄釉	底部2/3
	431	不明	石製品	石器				剥離片	剥片
	432	不明	石製品	石器				剥離片	剥片
	433	排土	土師器?	甕?	32.0				口縁部1/24
	434	不明		甕(壺)			4.2		底部1/4
	435	排土	土師器	塊?			4.8	糸切り痕	底部1/4
	436	排土	須恵器	壺				内外面自然釉	
	437	排土	須恵器	壺			6.0	糸切り痕	底部ほぼ完存
	438	排土	須恵器	横瓶					破片
	439	不明	鉄滓	塊形滓					
	440	不明	鉄滓	塊形滓					
	441	不明	鉄滓	塊形滓					

## IV 小杉町赤田東遺跡出土木製品の樹種調査結果

(株)吉田生物研究所

### 1. 試料

試料は小杉町赤田東遺跡（統合小学校）から出土した服飾具1点、容器6点、雑具1点、用途不明品30点の計38点である。

### 2. 観察方法

剃刀で木口（横断面）、柾目（放射断面）、板目（接線断面）の各切片を採取し、永久プレパラートを作製した。このプレパラートを顕微鏡で観察して同定した。

### 3. 結果

樹種同定結果（針葉樹3種、広葉樹3種）の表と顕微鏡写真を示し、以下に各種の主な解剖学的特徴を記す。

#### 1) ヒノキ科アスナロ属 (*Thujopsis* sp.)

(写真No.7, 14, 15, 30, 32, 34, 35)

(遺物No.6, 167, 169, 170, 174, 194, 195)

木口では仮道管を持ち、早材から晩材への移行は緩やかであった。樹脂細胞は晩材部に散在または接線配列である。柾目では放射組織の分野壁孔はヒノキ型からややスギ型で1分野に2～4個ある。板目では放射組織はすべて単列であった。数珠状末端壁を持つ樹脂細胞がある。アスナロ属にはアスナロ（ヒバ、アテ）とヒノキアスナロ（ヒバ）があるが顕微鏡下では識別困難である。アスナロ属は本州、四国、九州に分布する。

#### 2) スギ科スギ属スギ (*Cryptomeria japonica* D. Don)

(写真No.1～6, 8, 9, 11～13, 16～20, 22～29, 31, 33, 36～38)

(遺物No.7～9, 164, 168, 172, 173, 175～179, 180～189, 190～193, 196～198)

木口では仮道管を持ち、早材から晩材への移行はやや急であった。樹脂細胞は晩材部で接線方向に並んでいた。柾目では放射組織の分野壁孔は典型的なスギ型で1分野に1～3個ある。板目では放射組織はすべて単列であった。樹脂細胞の末端壁はおおむね偏平である。スギは本州、四国、九州の主として太平洋側に分布する。

#### 3) カバノキ科ハンノキ属 (*Alnus* sp.)

(写真No.10)

(遺物No.171)

散孔材である。木口では中庸ないしやや小さい道管（ $\sim 90 \mu\text{m}$ ）が2～数個半径方向に放射複合管孔をなして平等に分布する。軸方向柔組織は単節線状柔組織を形成している。放射組織は多数の単列放射組織と幅の広い放射組織がある。柾目では道管は階段穿孔と小型で円形の対列壁孔を有する。放射組織はおおむね平伏細胞からなるが、ときに上下縁辺に方形細胞が現れる。板目では多数の単列放射組織（1～30細胞高）と単列放射組織が集まつてできた集合型の広放射性組織がある。ハンノキ属はハンノキ、ミヤマハンノキ、ケヤマハンノキ等があり、北海道、本州、四国、九州に分布する。

4) ニレ科ケヤキ属ケヤキ (*Zelkova serrata* Makino)

(写真No.21)

(遺物No.199)

環孔材である。木口ではおおむね円形で単独の大道管(～270 μm)が1列で孔圈部を形成している。孔圈外では急に大きさを減じ、多角形の小道管が多数集まって円形、接線状あるいは斜線状の集団管孔を形成している。軸方向柔細胞は孔圈部では道管を鞘状に取り囲み、さらに接線方向に連続している(イニシアル柔組織)。放射組織は1～数列で多数の筋として見られる。柾目では大道管は单穿孔と側壁に交互壁孔を有する。小道管はさらに螺旋肥厚も持つ。放射組織は平伏細胞と上下縁辺の方形細胞からなり異性である。包茎細胞はしばしば大型のものがある。板目では放射組織は少数の1～3列のものと大部分を占める6～7細胞列のほぼ大きさの一様な紡錘形放射組織がある。紡錘形放射組織の上下端の細胞は、他の部分に比べ大型である。ケヤキは本州、四国、九州に分布する。

<参考文献>

島地 謙・伊東隆夫 「日本の遺跡出土木製品総覧」 雄山閣出版 (1988)

島地 謙・伊東隆夫 「図説木材組織」 地球社 (1982)

伊東隆夫 「日本産広葉樹材の解剖学的記載 I～V」 京都大学木質科学研究所 (1999)

北村四郎・村田 源 「原色日本植物図鑑木本編 I・II」 保育社 (1979)

深澤和三 「樹体の解剖」 海青社 (1997)

奈良国立文化財研究所 「奈良国立文化財研究所 史料第27冊 木器集成図録 近畿古代編」 (1985)

奈良国立文化財研究所 「奈良国立文化財研究所 史料第36冊 木器集成図録 近畿原始編」 (1993)

<使用顕微鏡>

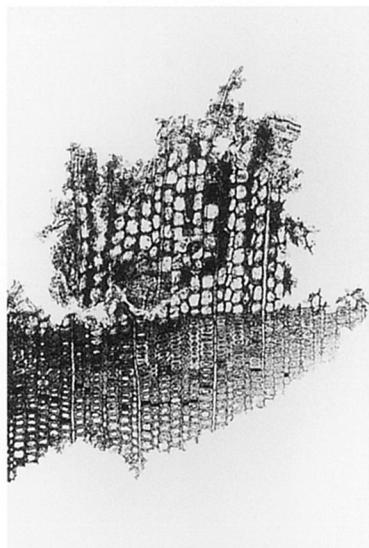
Nikon

MICROFLEX UFX-DX Type 115

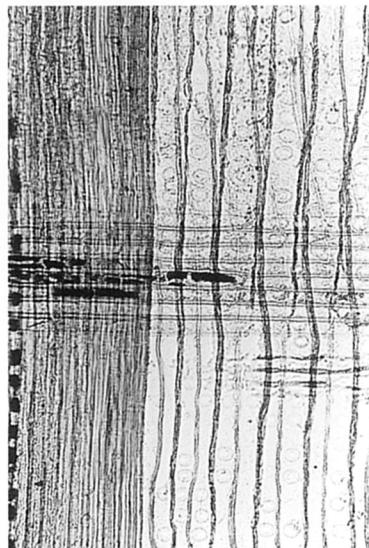
小杉町赤田東遺跡出土木製品同定表

写真No.	遺物No.	遺 物 名	樹 種
1	196	板状木製品	スギ科スギ属スギ
2	186	棒状木製品	スギ科スギ属スギ

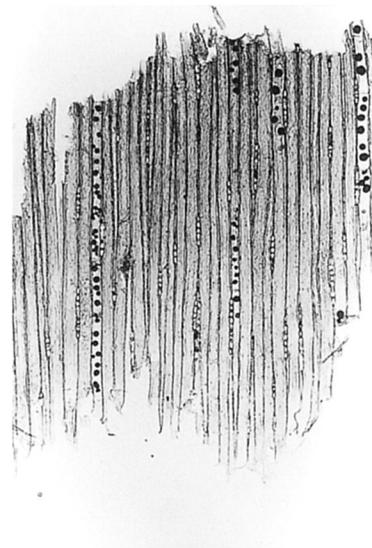
写真No.	遺物No.	遺 物 名	樹 種
3	187	薄板状木製品	スギ科スギ属スギ
4	175	薄板状木製品	スギ科スギ属スギ
5	193	棒状木製品	スギ科スギ属スギ
6	180	棒状木製品	スギ科スギ属スギ
7	174	棒状木製品	ヒノキ科アスナロ属
8	173	棒状木製品	スギ科スギ属スギ
9	172	ヘラ状木製品	スギ科スギ属スギ
10	171	棒状木製品	カバノキ科ハンノキ属
11	197	棒状木製品	スギ科スギ属スギ
12	183	板状木製品	スギ科スギ属スギ
13	182	板状木製品	スギ科スギ属スギ
14	170	板状木製品	ヒノキ科アスナロ属
15	169	板状木製品	ヒノキ科アスナロ属
16	189	棒状木製品	スギ科スギ属スギ
17	176	曲物破片	スギ科スギ属スギ
18	177	曲物破片	スギ科スギ属スギ
19	179	曲物破片	スギ科スギ属スギ
20	178	曲物破片	スギ科スギ属スギ
21	199	椀	ニレ科ケヤキ属ケヤキ
22	191	棒状木製品	スギ科スギ属スギ
23	181	棒状木製品	スギ科スギ属スギ
24	188	つるべ取手	スギ科スギ属スギ
25	164	くさび状木製品	スギ科スギ属スギ
26	192	棒状木製品	スギ科スギ属スギ
27	190	棒状木製品	スギ科スギ属スギ
28	184	板状木製品	スギ科スギ属スギ
29	168	板状木製品	スギ科スギ属スギ
30	167	曲物	ヒノキ科アスナロ属
31	198	角状木製品	スギ科スギ属スギ
32	195	棒状木製品	ヒノキ科アスナロ属
33	185	ヘラ状木製品	スギ科スギ属スギ
34	194	山型状木製品	ヒノキ科アスナロ属
35	6	弓状木製品	ヒノキ科アスナロ属
36	7	下駄	スギ科スギ属スギ
37	8	板状木製品	スギ科スギ属スギ
38	9	板状木製品	スギ科スギ属スギ



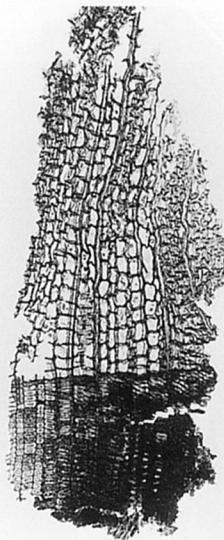
木口×40  
No. 1 スギ科スギ属スギ



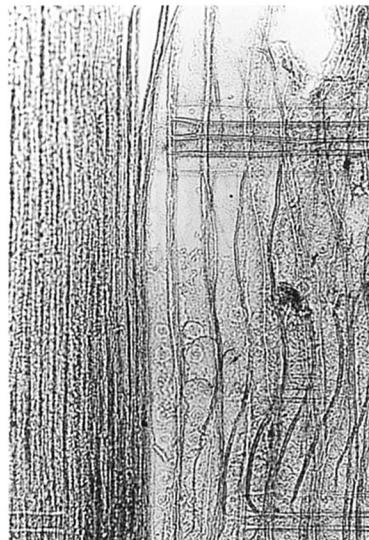
柾目×100



板目×40



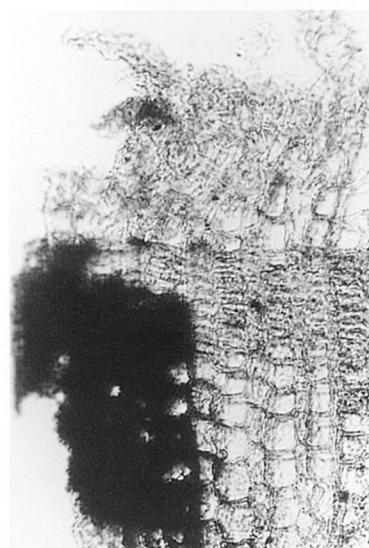
木口×40  
No. 2 スギ科スギ属スギ



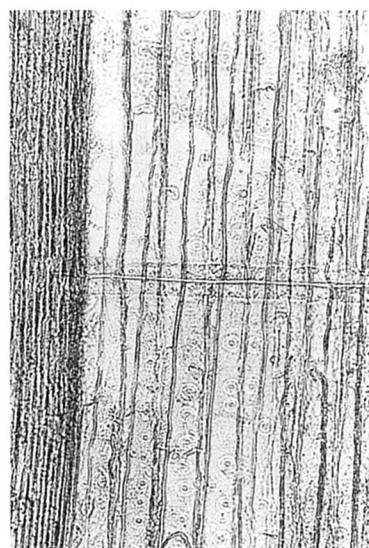
柾目×100



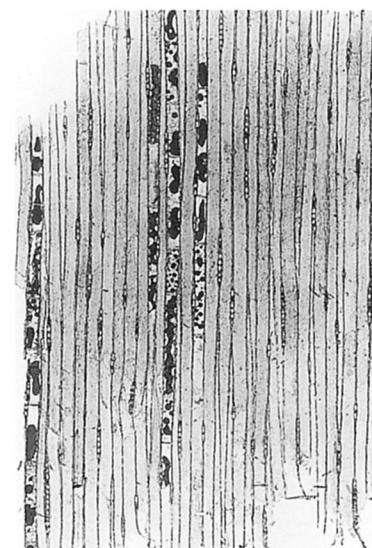
板目×100



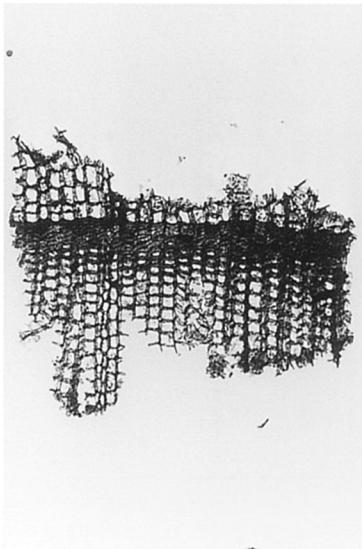
木口×100  
No. 3 スギ科スギ属スギ



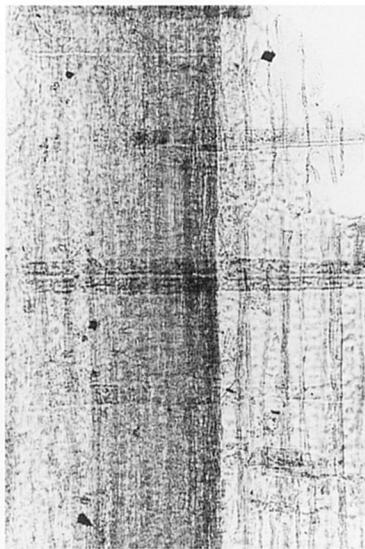
柾目×100



板目×40



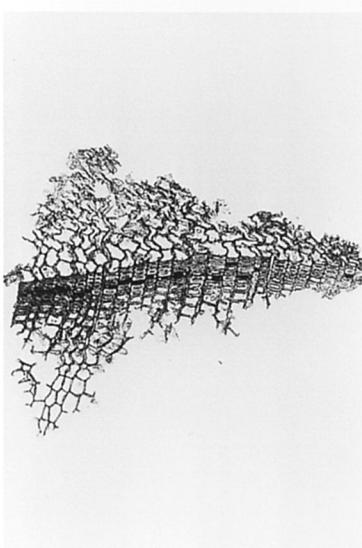
No. 4 木口×40  
スギ科スギ属スギ



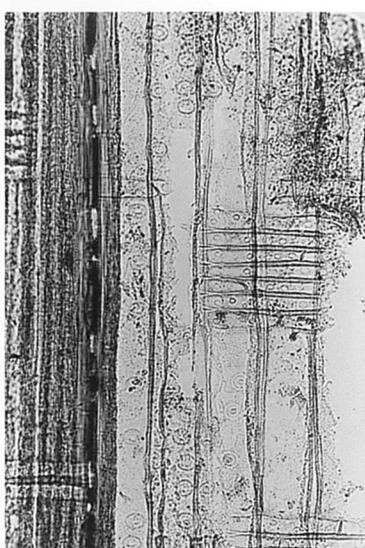
柾目×100



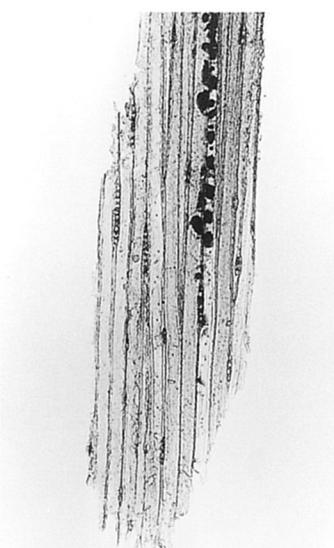
板目×40



No. 5 木口×40  
スギ科スギ属スギ



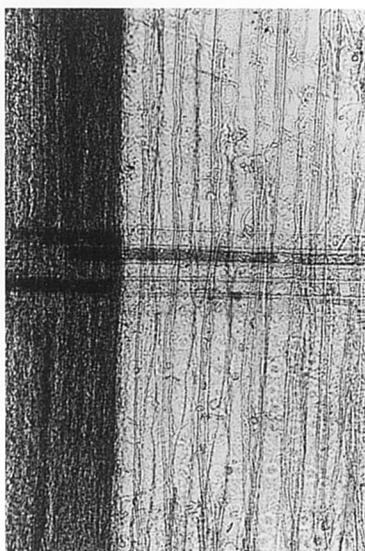
柾目×100



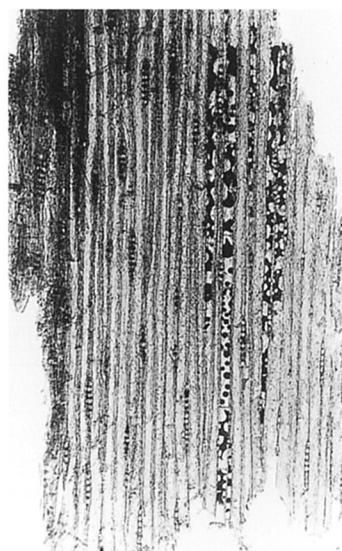
板目×40



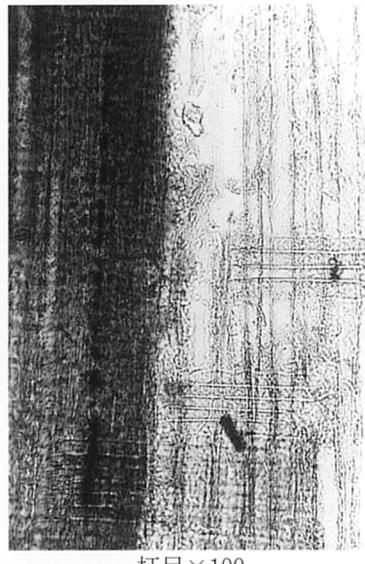
No. 6 木口×40  
スギ科スギ属スギ



柾目×100

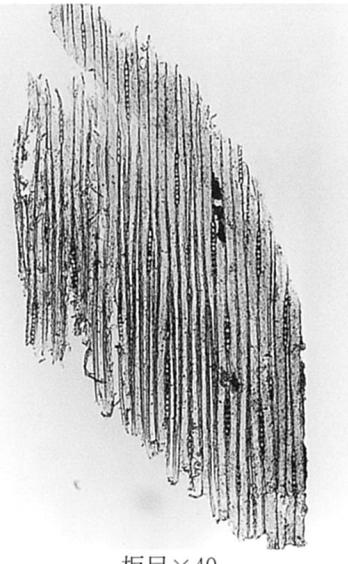


板目×40



柾目×100

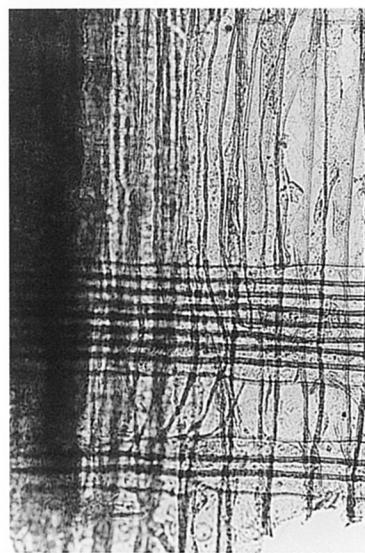
No. 7 ヒノキ科アスナロ属



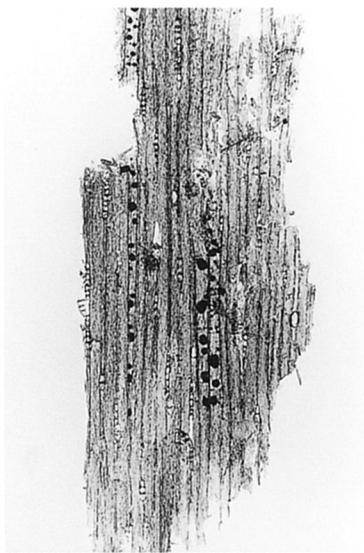
板目×40



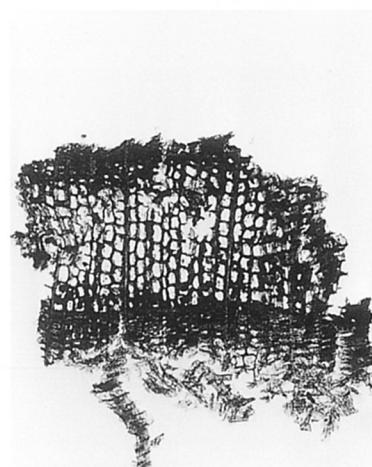
No. 8 スギ科スギ属スギ  
木口×40



柾目×100



板目×40



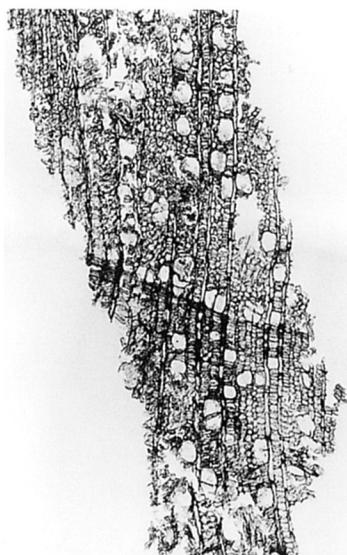
No. 9 スギ科スギ属スギ  
木口×40



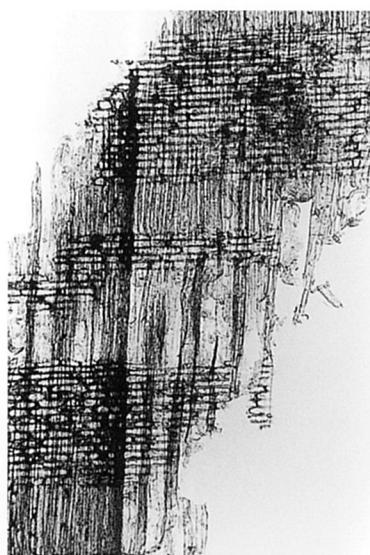
柾目×100



板目×40



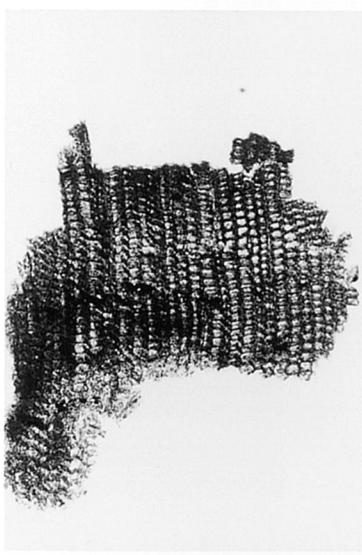
No.10 カバノキ科ハンノキ属  
木口×40



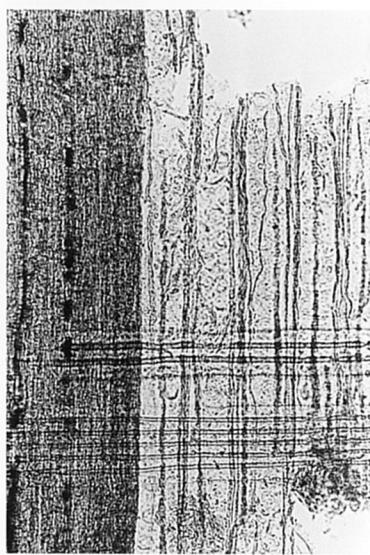
柾目×40



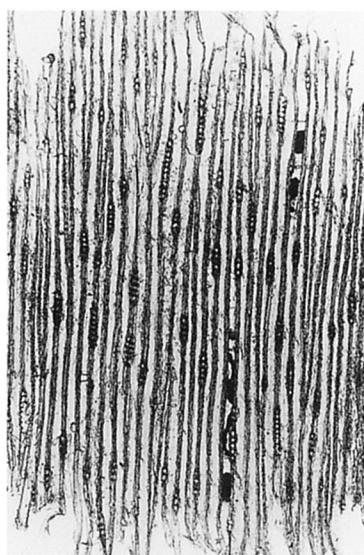
板目×40



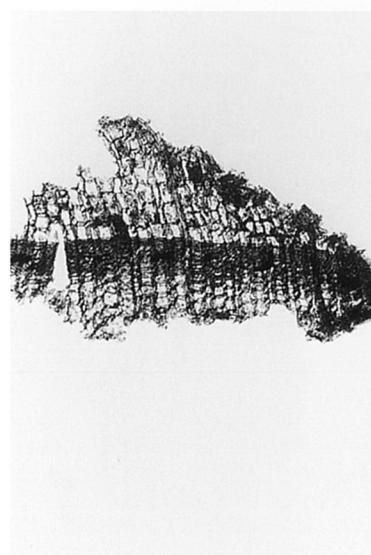
No.11 スギ科スギ属スギ  
木口×40



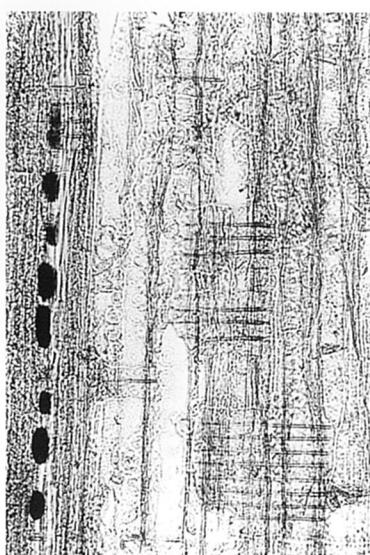
柾目×100



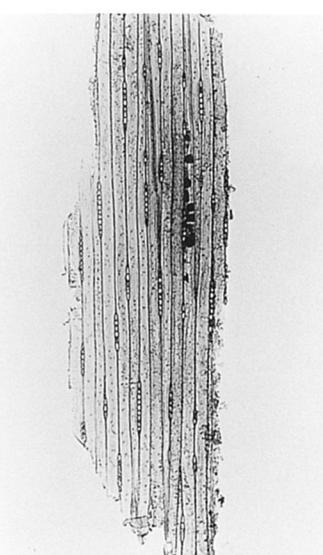
板目×40



No.12 スギ科スギ属スギ  
木口×40



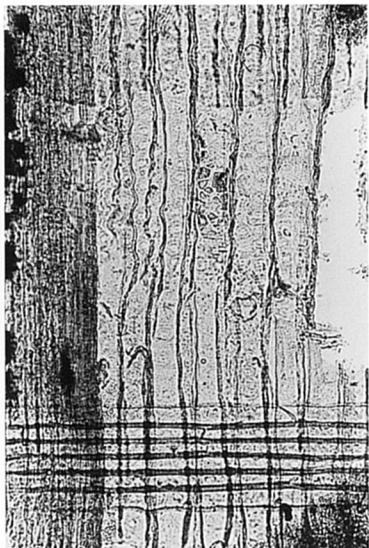
柾目×100



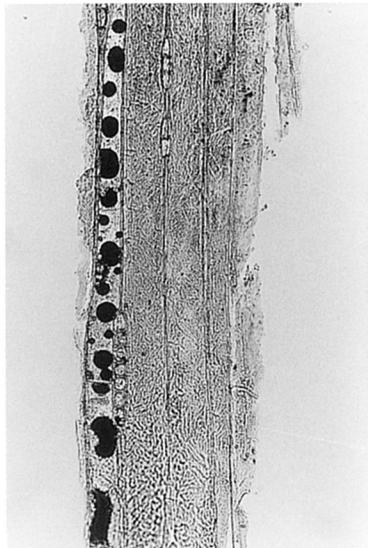
板目×40



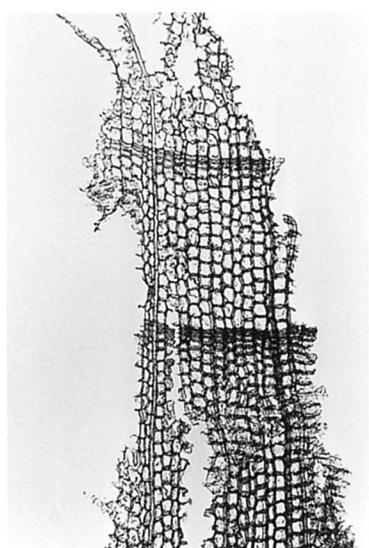
木口×40  
No.13 スギ科スギ属スギ



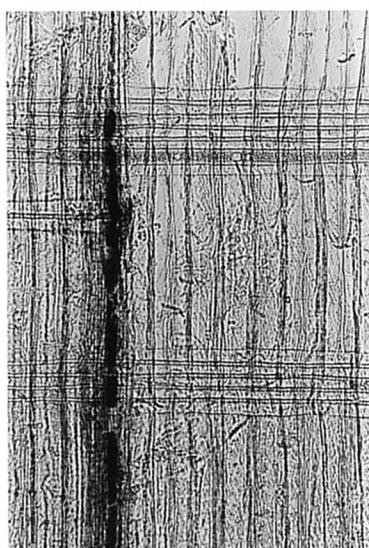
柾目×100



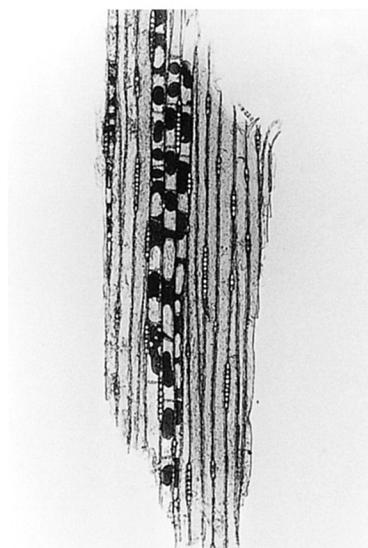
板目×100



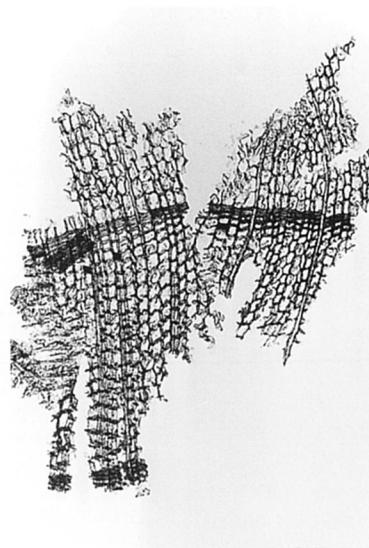
木口×40  
No.14 ヒノキ科アスナロ属



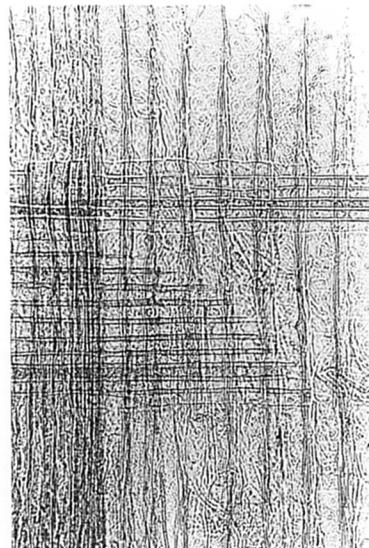
柾目×100



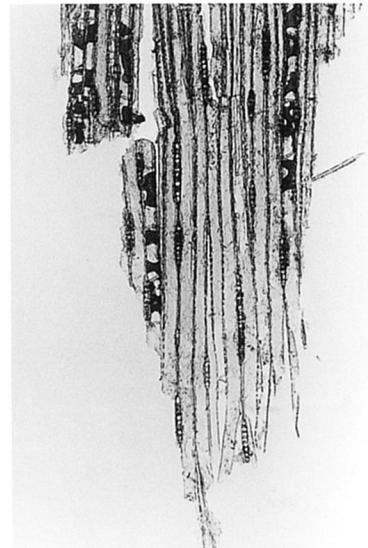
板目×40



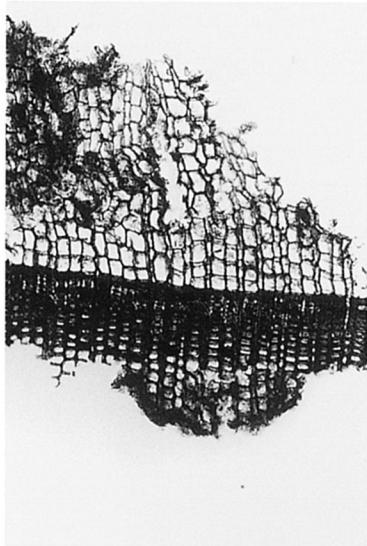
木口×40  
No.15 ヒノキ科アスナロ属



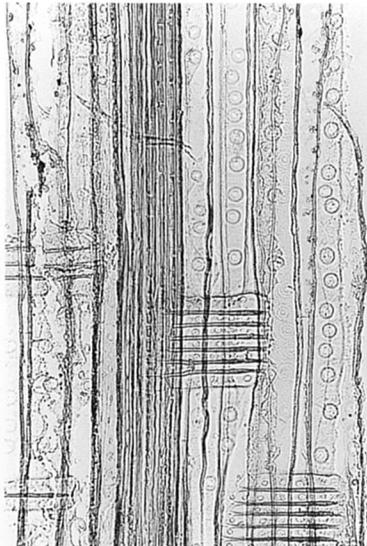
柾目×100



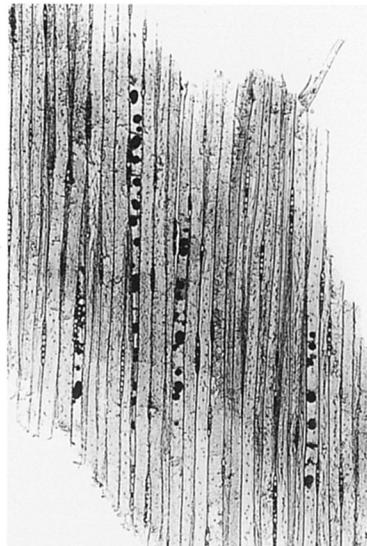
板目×40



木口×40  
No.16 スギ科スギ属スギ



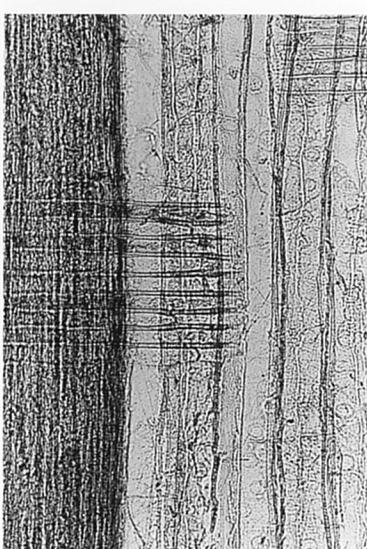
柾目×100



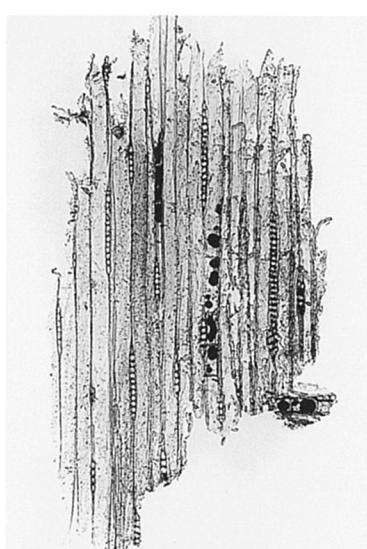
板目×40



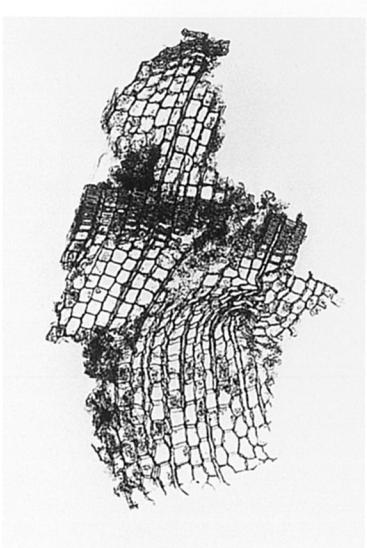
木口×40  
No.17 スギ科スギ属スギ



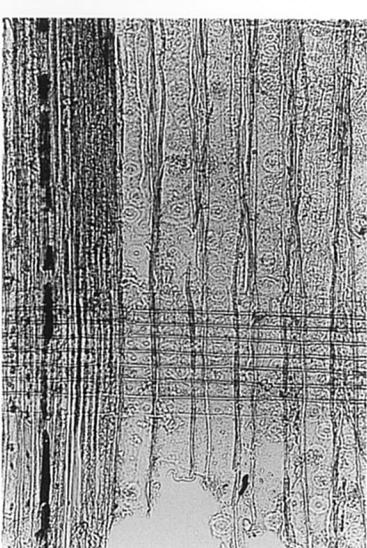
柾目×100



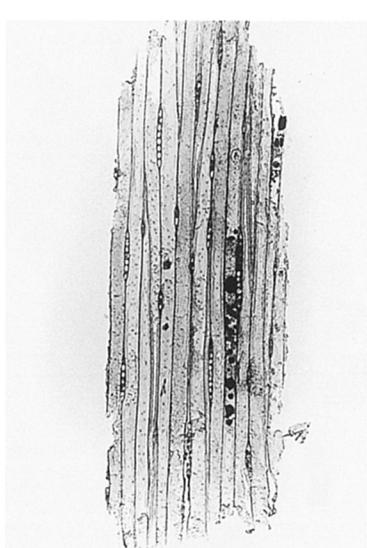
板目×40



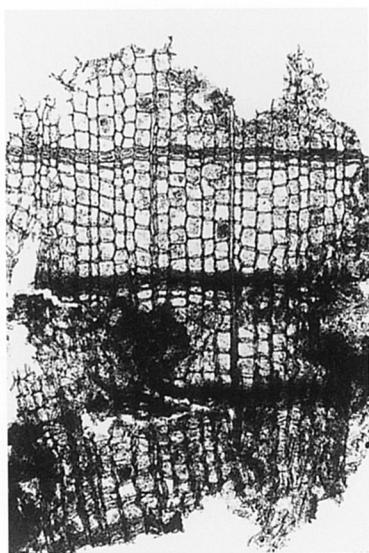
木口×40  
No.18 スギ科スギ属スギ



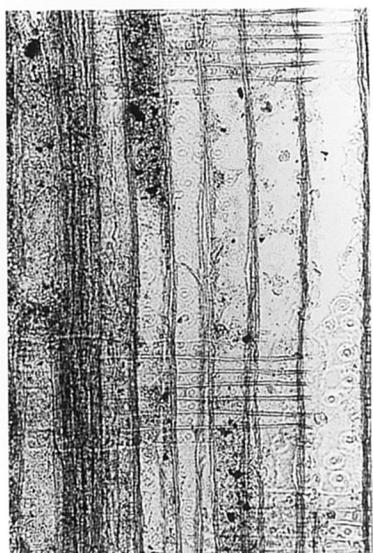
柾目×100



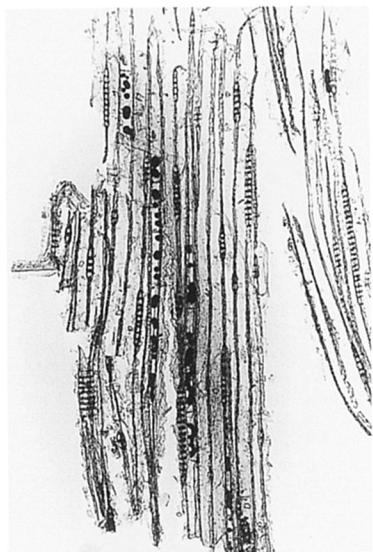
板目×40



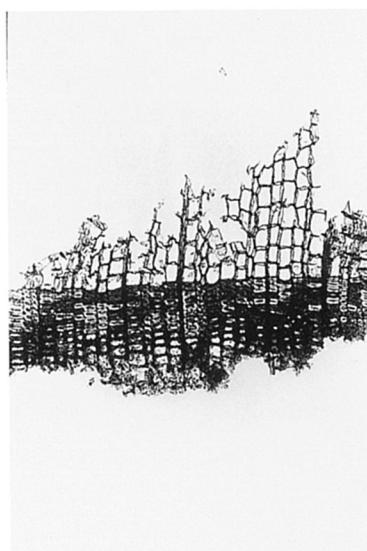
木口×40  
No.19 スギ科スギ属スギ



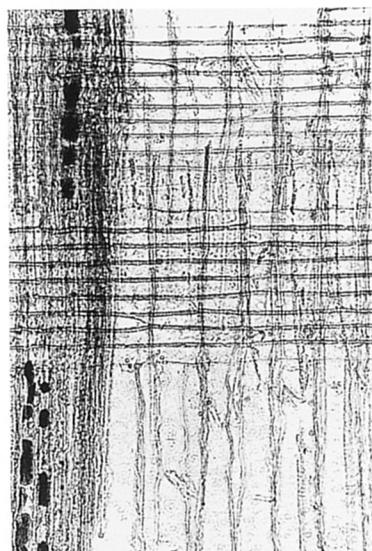
柾目×100



板目×40



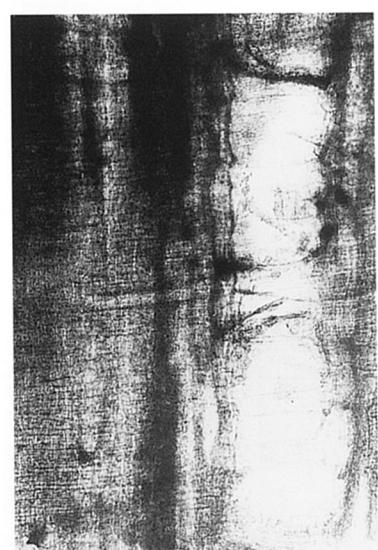
木口×40  
No.20 スギ科スギ属スギ



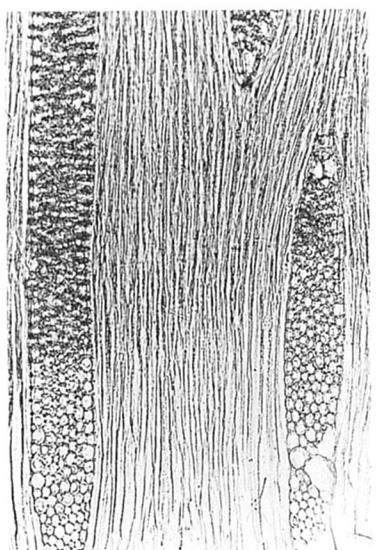
柾目×100



板目×40

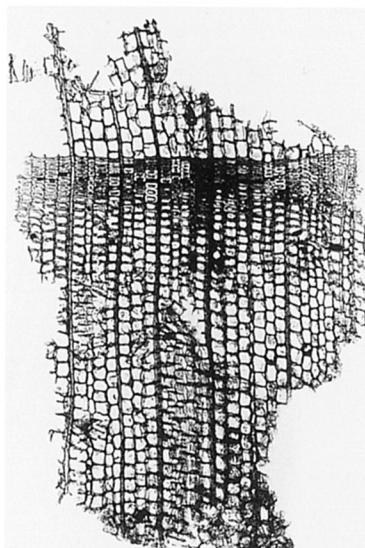


柾目×40

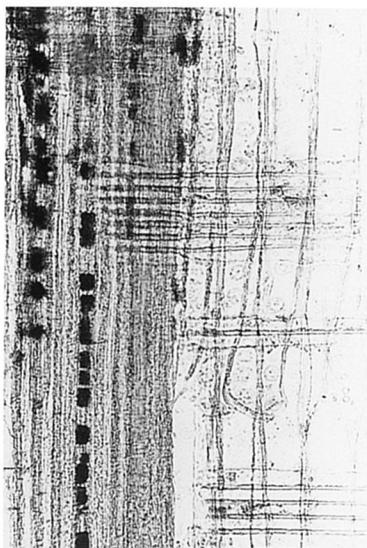


板目×100

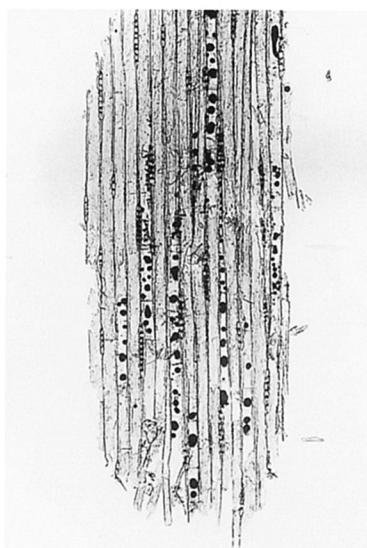
No.21 ニレ科ケヤキ属ケヤキ



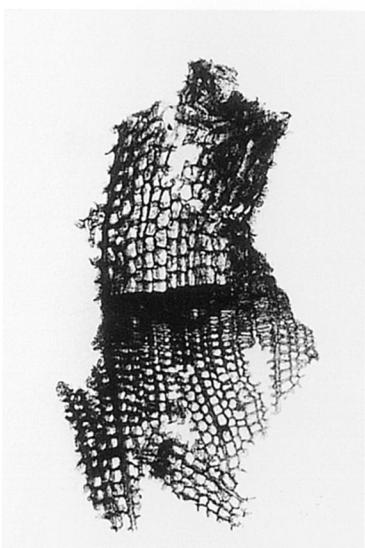
No.22 スギ科スギ属スギ  
木口×40



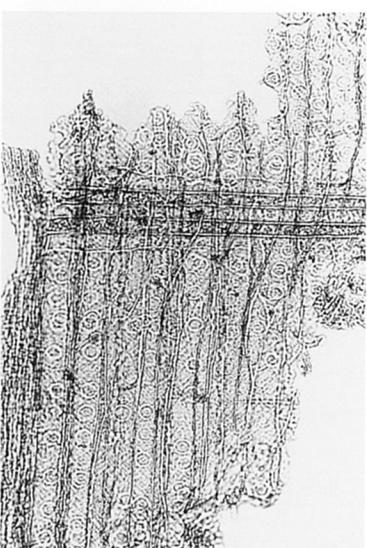
柾目×100



板目×40



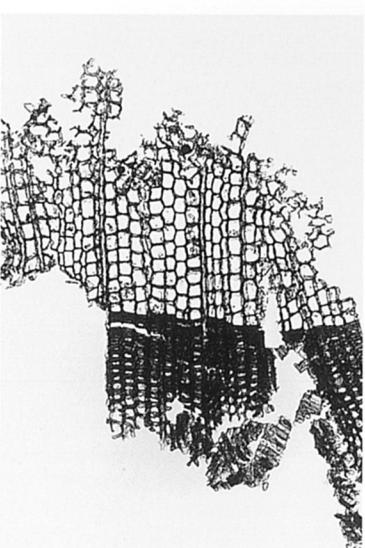
No.23 スギ科スギ属スギ  
木口×40



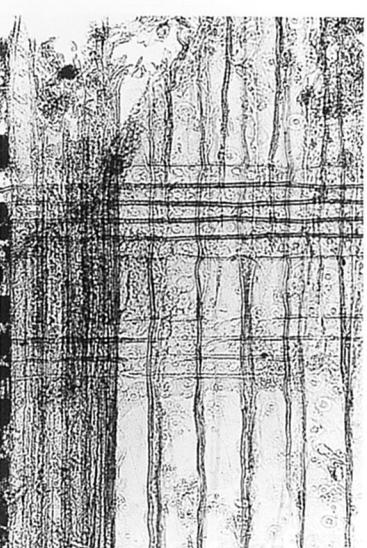
柾目×100



板目×40



No.24 スギ科スギ属スギ  
木口×40



柾目×100



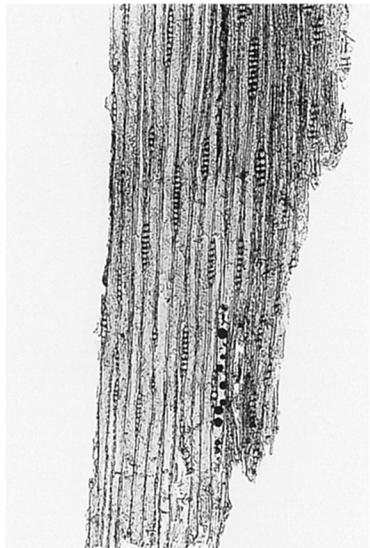
板目×40



木口×40  
No.25 スギ科スギ属スギ



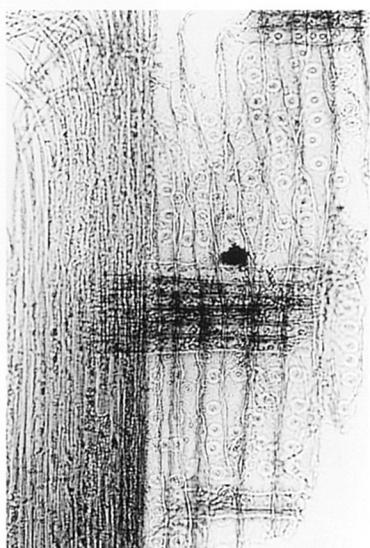
柾目×100



板目×40



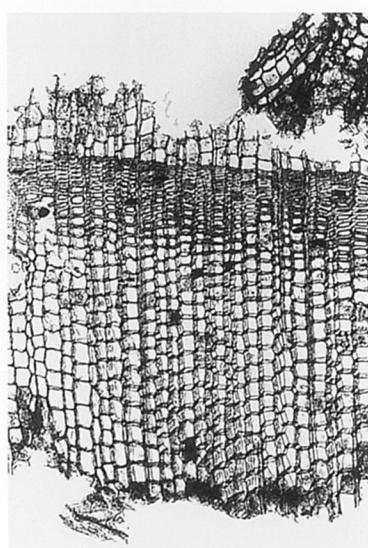
木口×40  
No.26 スギ科スギ属スギ



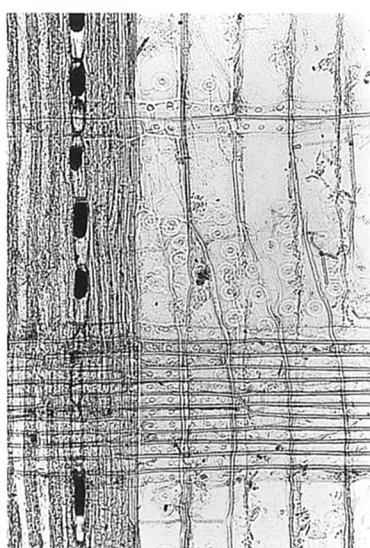
柾目×100



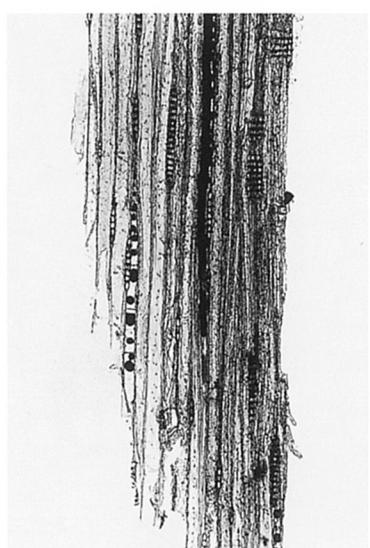
板目×40



木口×40  
No.27 スギ科スギ属スギ



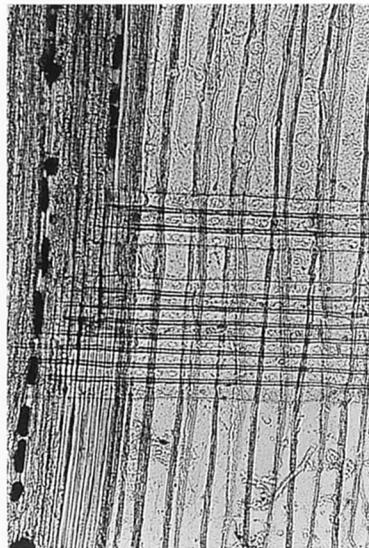
柾目×100



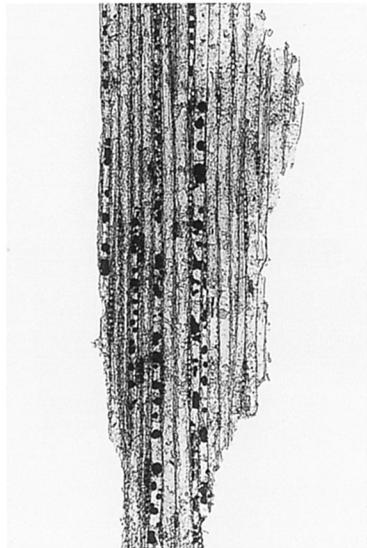
板目×40



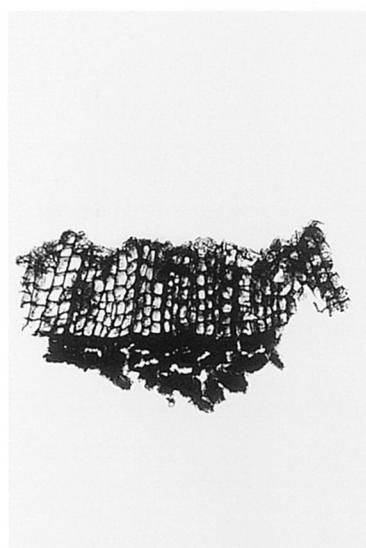
No.28 スギ科スギ属スギ  
木口×40



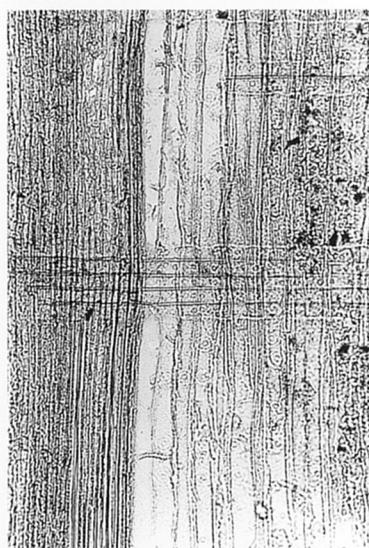
桿目×100



板目×40



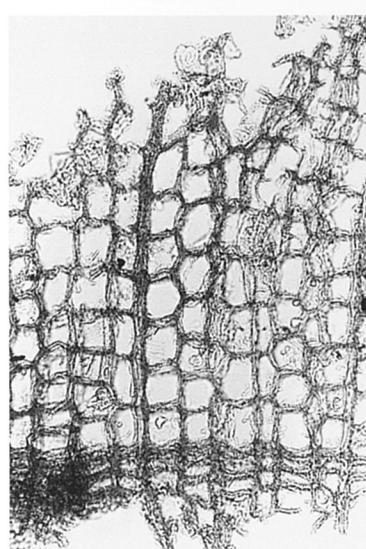
No.29 スギ科スギ属スギ  
木口×40



桿目×100



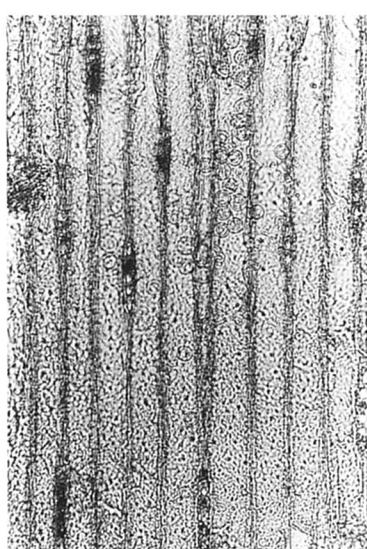
板目×40



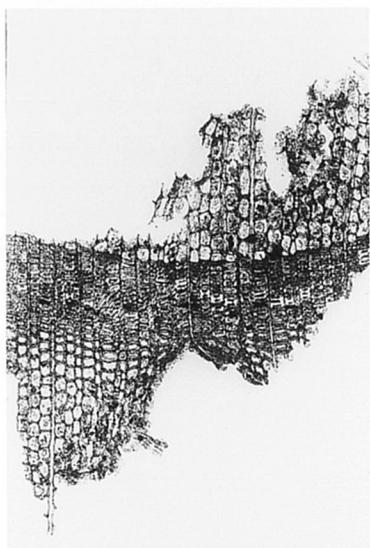
No.30 ヒノキ科アスナロ属  
木口×100



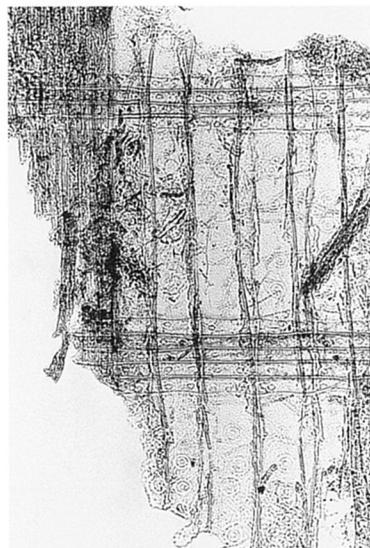
桿目×100



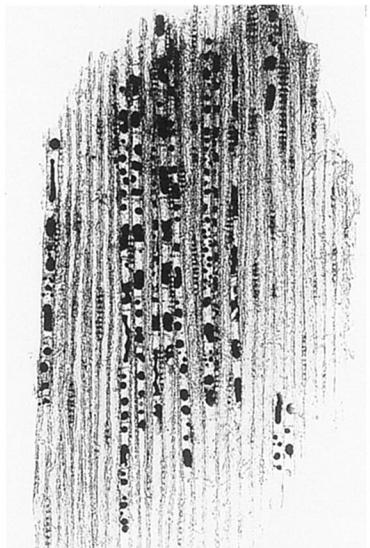
板目×100



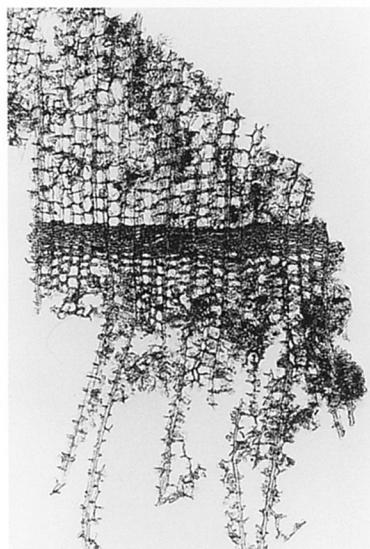
木口×40  
No.31 スギ科スギ属スギ



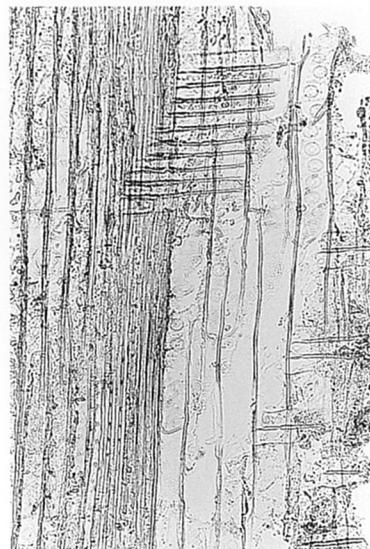
柾目×100



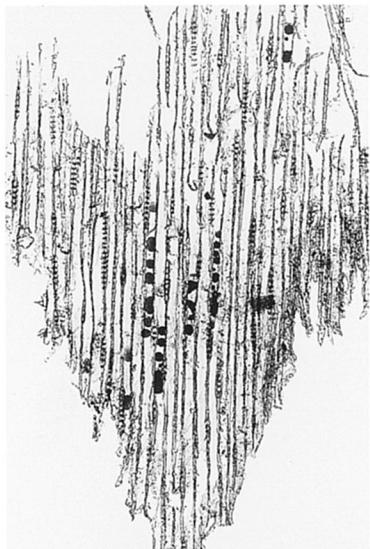
板目×40



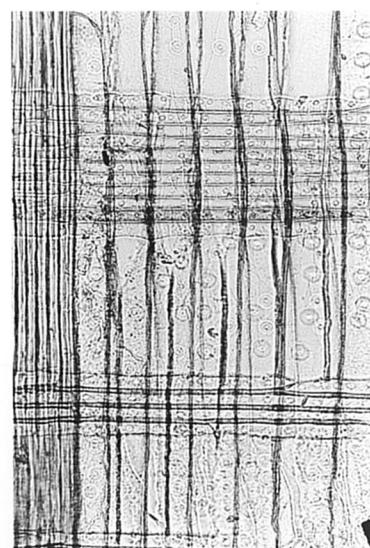
木口×40  
No.32 ヒノキ科アスナロ属



柾目×100

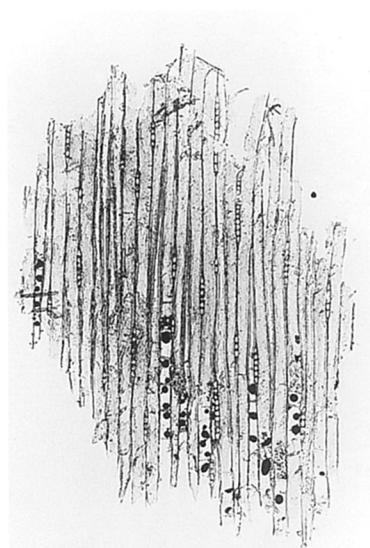


板目×40

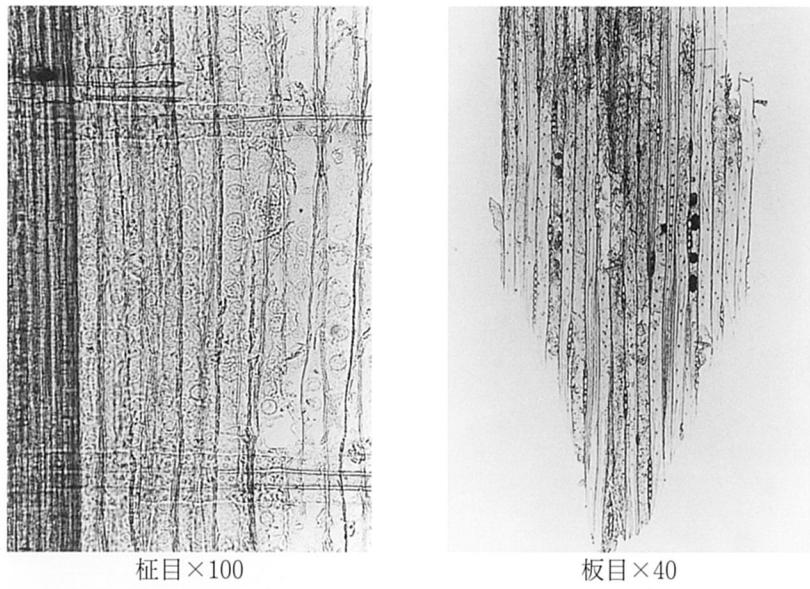


柾目×100

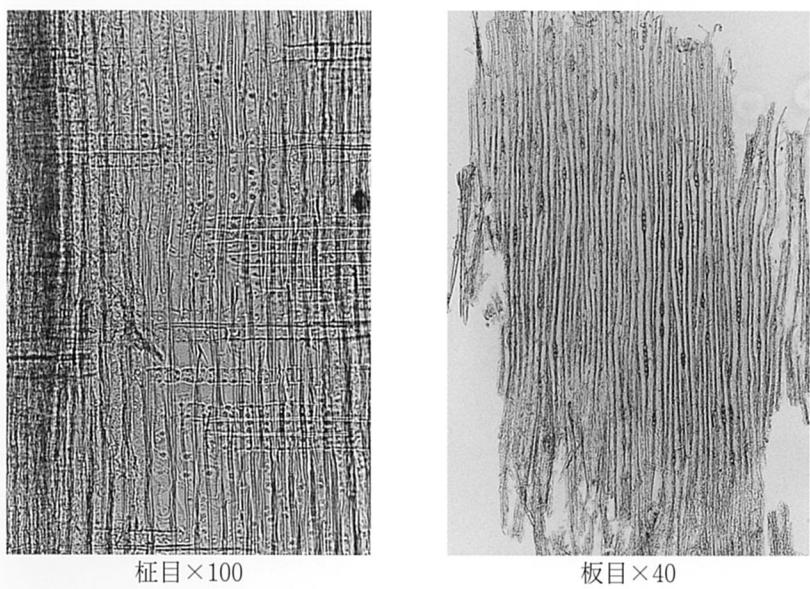
No.33 スギ科スギ属スギ



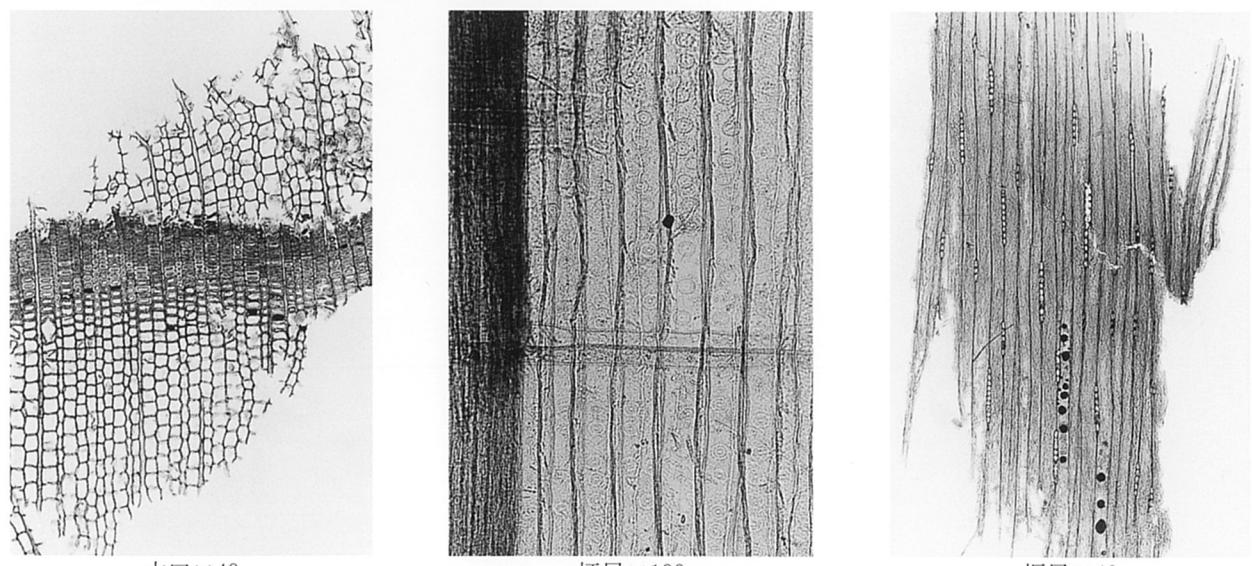
板目×40



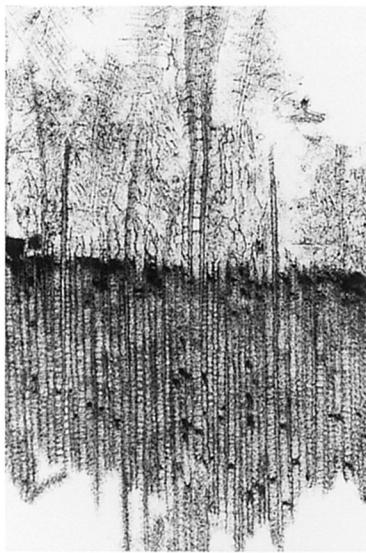
No.34 ヒノキ科アスナロ属



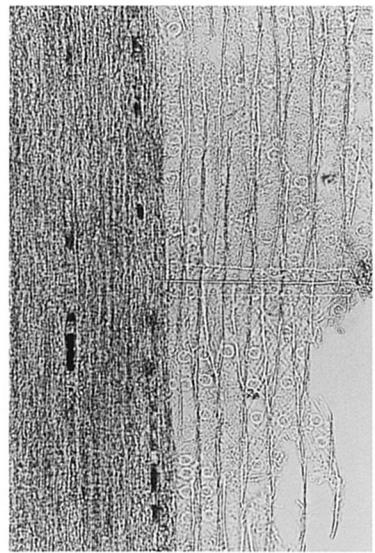
No.35 ヒノキ科アスナロ属



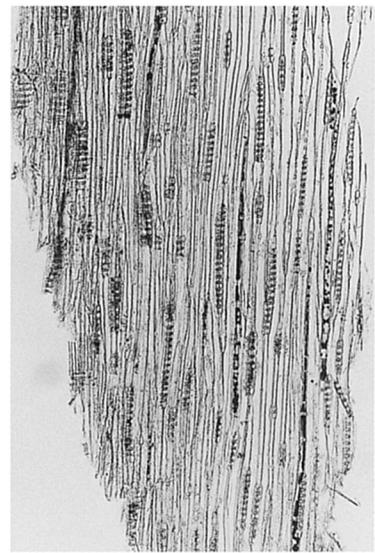
No.36 スギ科スギ属スギ



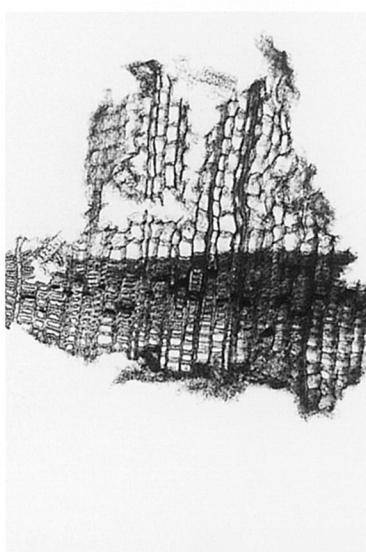
木口×40  
No.37 スギ科スギ属スギ



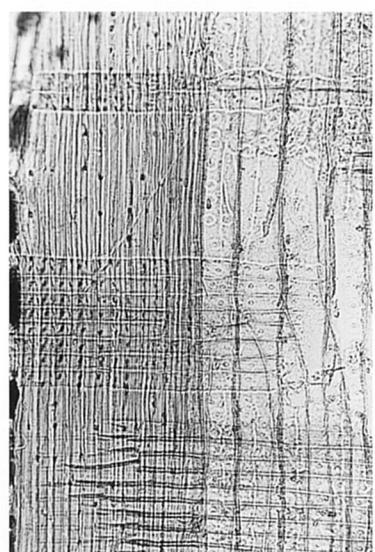
柾目×100



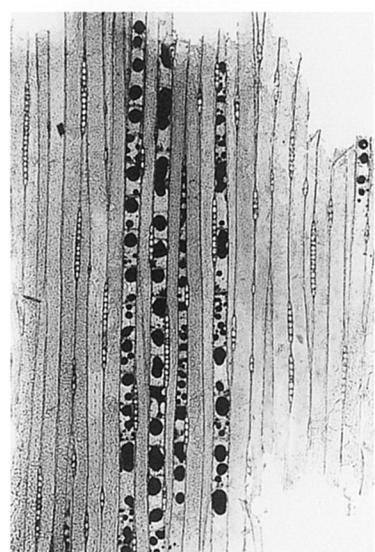
板目×40



木口×40  
No.38 スギ科スギ属スギ



柾目×100



板目×40

図版 1 試掘調査



調査対象地(北東から)



試掘作業状況



掘削後(東から)



弥生土器出土状況



須恵器出土状況

図版2 本調査



調査状況



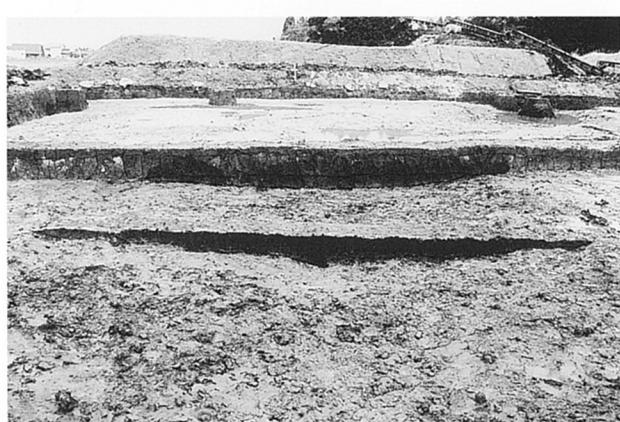
調査風景



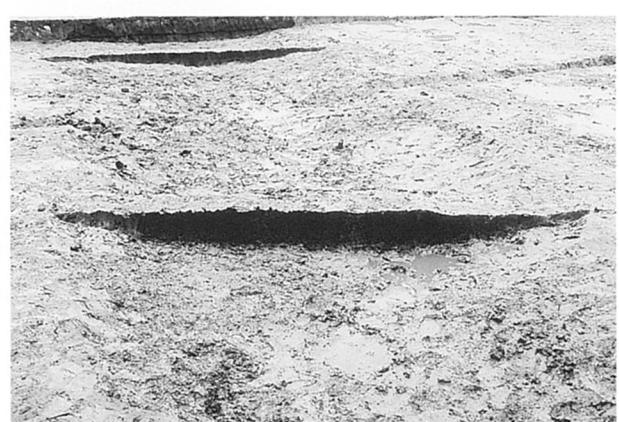
X10ライン東西セクション部分



Y10ライン東西セクション部分



SD01 Cセクション



SD01 Dセクション



SX07掘削状況



SX07遺物出土状況

図版3 出土遺物(石製品)



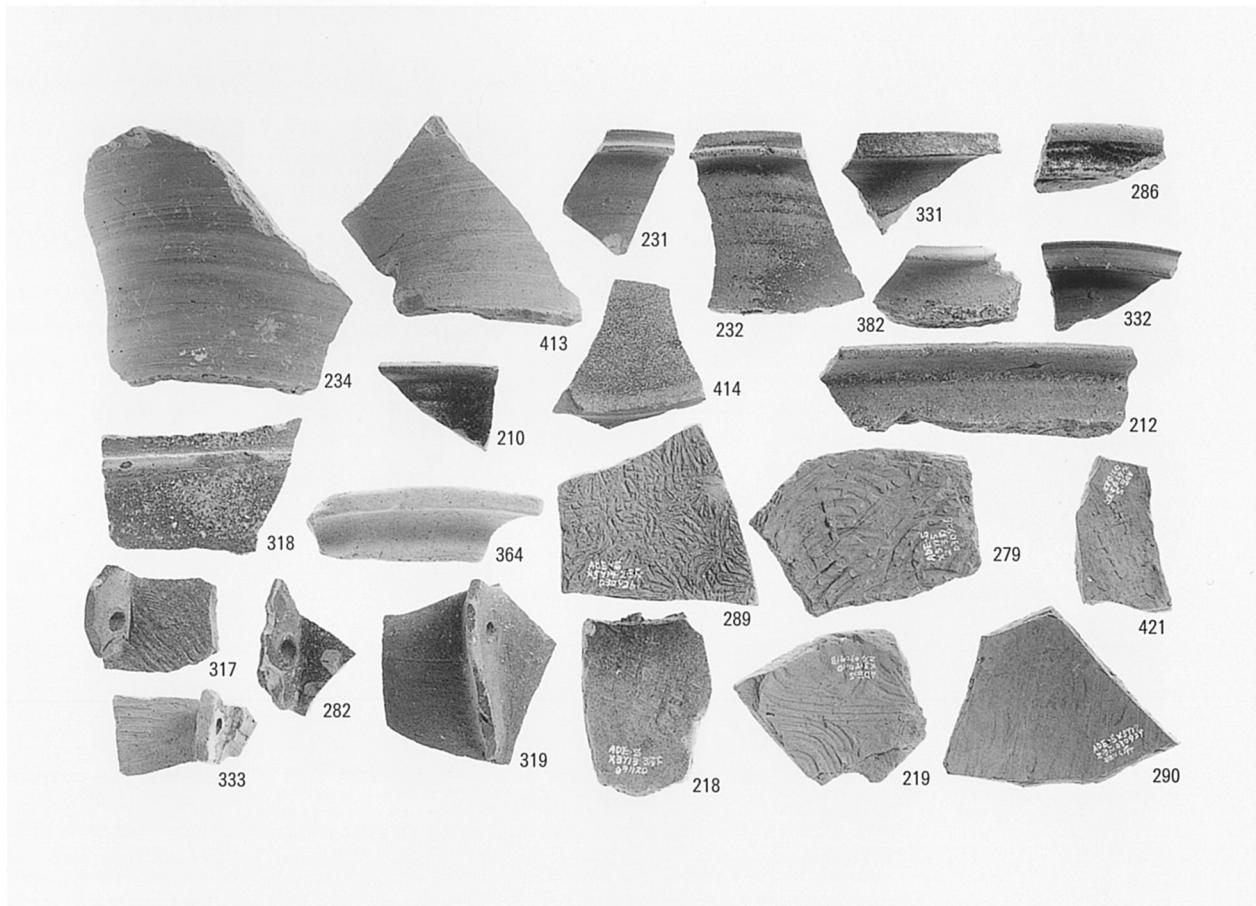
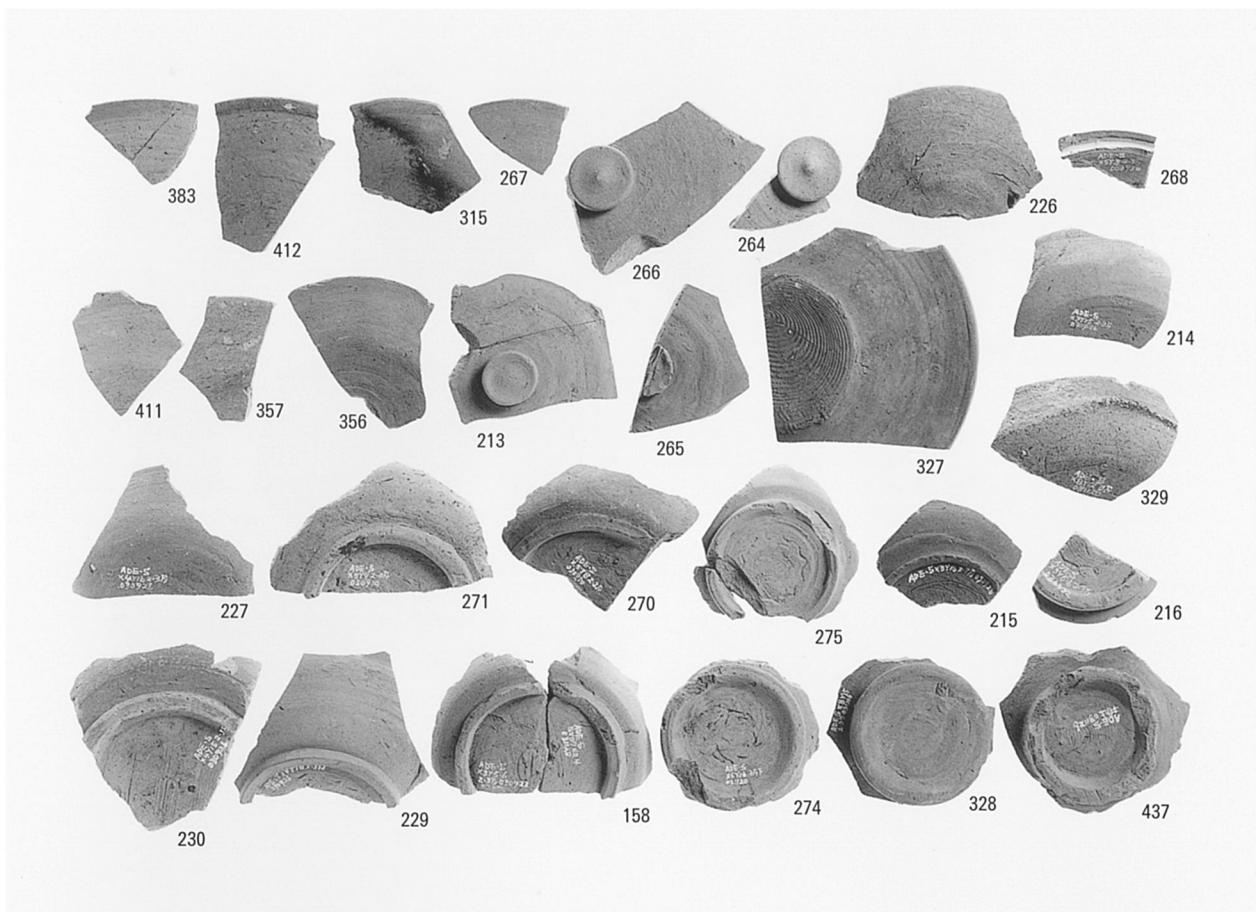
図版4 出土遺物(土器：土師器)



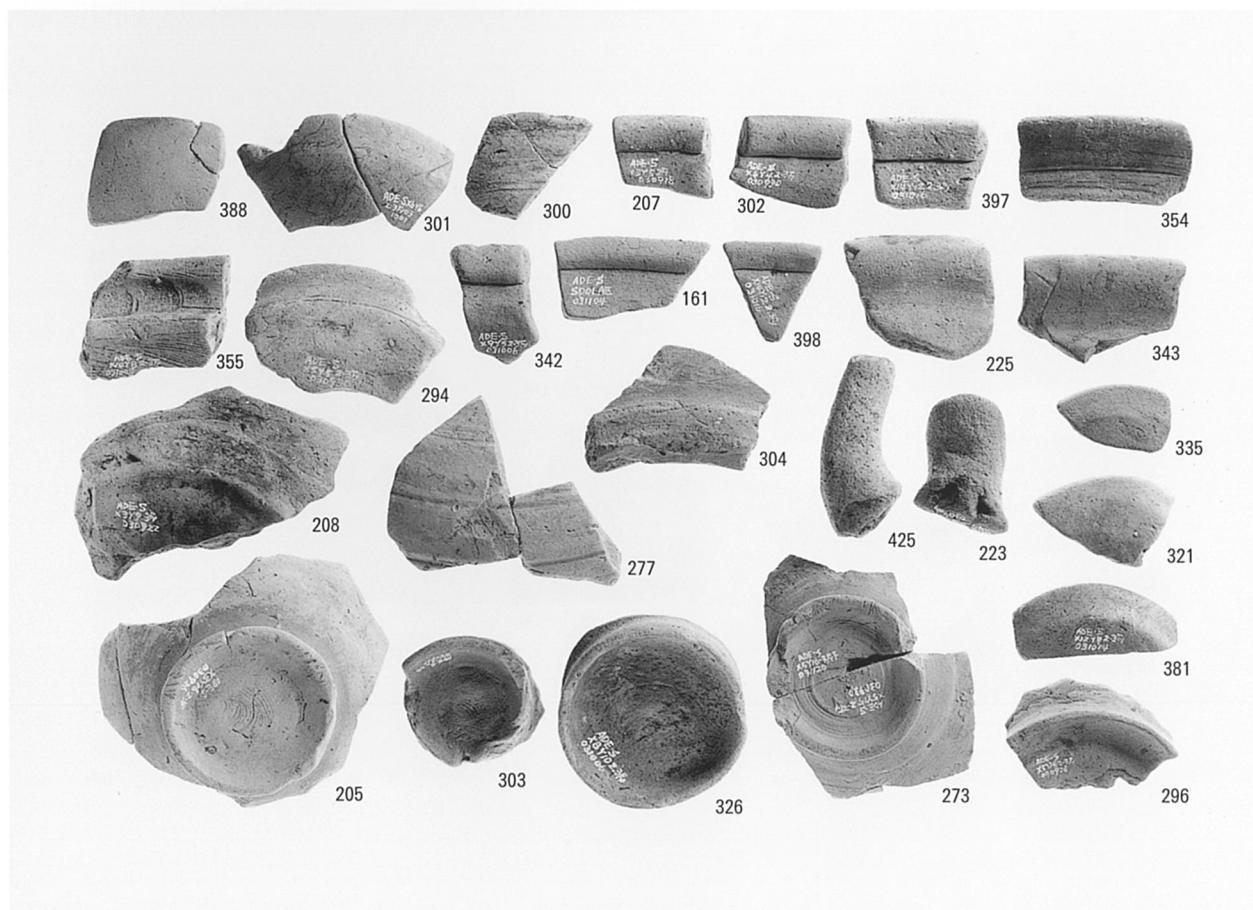
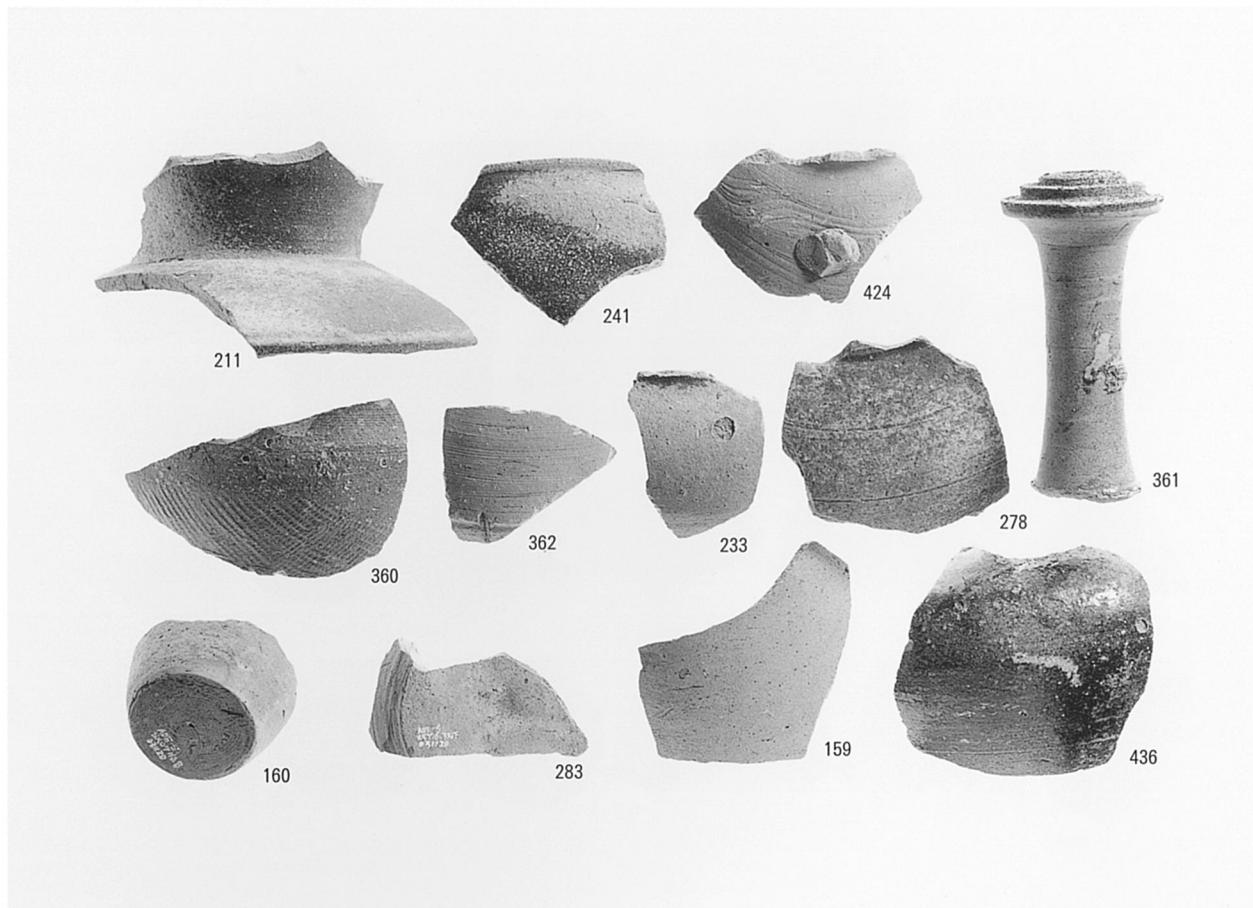
図版5 出土遺物(土製品・金属製品)



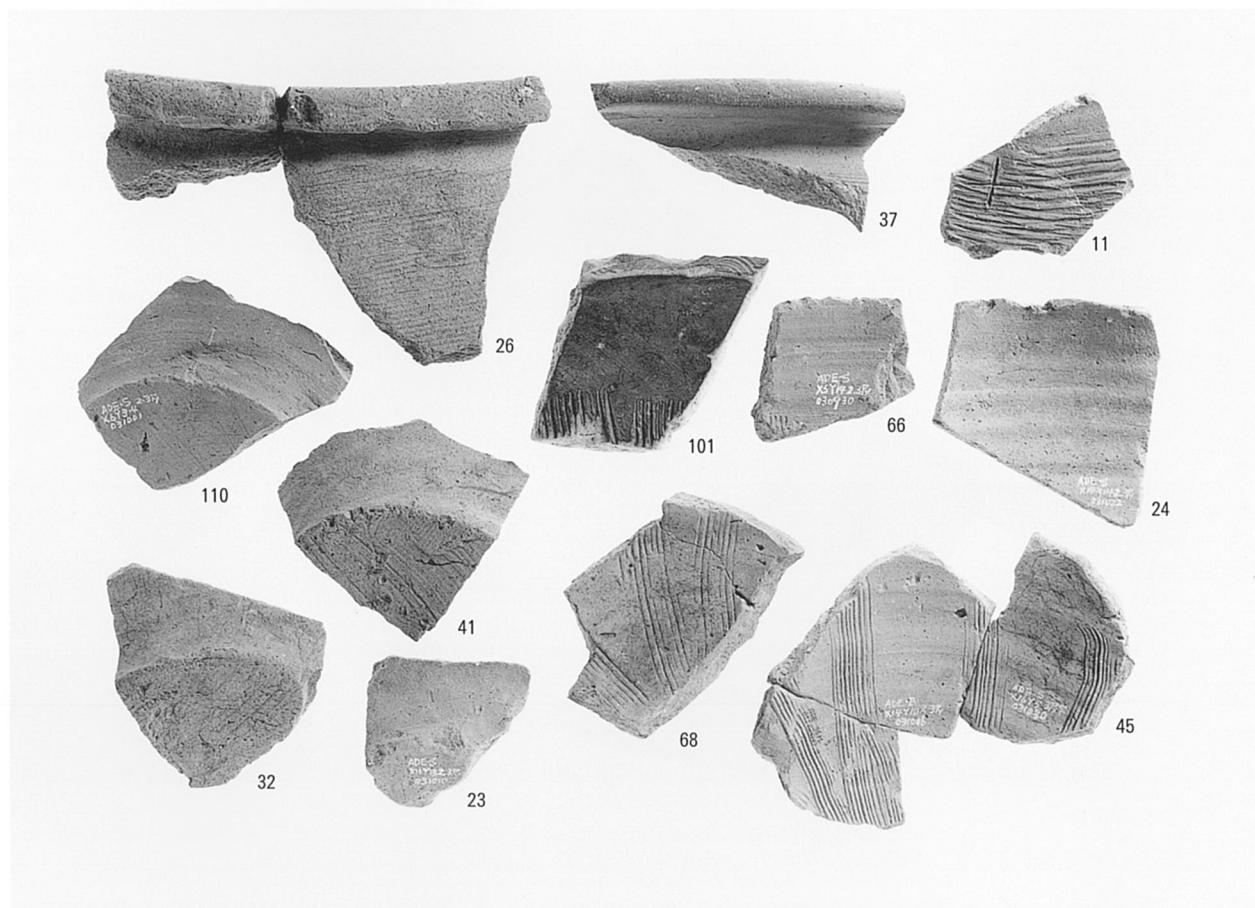
図版6 出土遺物(土器:須恵器)



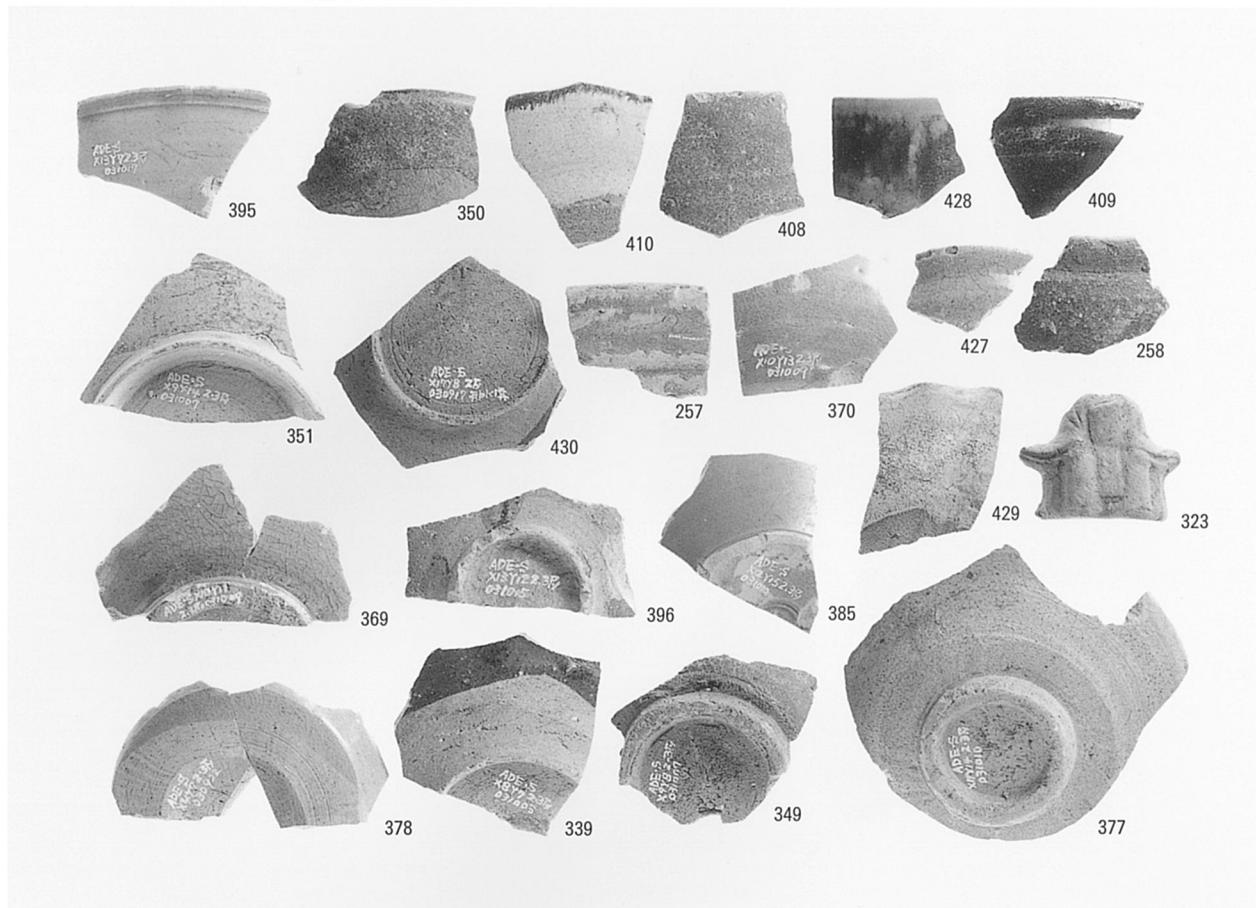
図版7 出土遺物(土器：須恵器・土師器)



図版8 出土遺物(羽口・鉄滓・珠洲)



図版9 出土遺物(中世陶器・近世陶器)



## 報告書抄録

ふりがな	あかんだひがしいせきはくつちょうさがいよう
書名	赤田東遺跡発掘調査概要
副書名	－統合小学校建設に伴う埋蔵文化財調査－
編著者名	原田 義範 堀井 泰樹
編集・発行機関	小杉町教育委員会
所在地	〒939-0393 富山県射水郡小杉町戸破1511 TEL 0766-56-1511
発行年月日	西暦 2004年10月29日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所 在 地	コ ー ド		北緯 ° ′ ″	東経 ° ′ ″	調査期間	調査面積 m <sup>2</sup>	調査原因
		市町村	遺跡番号					
あかんだひがし 赤田東	とやまけん いみずくんこすぎまち 富山県射水郡小杉町 下条926・928	16381	053	36度 42分 10秒	137度 05分 10秒	20011019～ 20011026 20030917～ 20031201	2,251 750	統合小学校建設に 伴う本調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物
赤田東	散布地	古代	川跡・土坑	縄文土器・石製品・弥生土器 須恵器・土師器・木製品 中世陶器・近世陶器

平成16年10月29日発行 <b>赤田東遺跡発掘調査概要</b> －統合小学校建設に伴う埋蔵文化財調査－  編集・発行 小杉町教育委員会 〒939-0393 富山県射水郡小杉町戸破1511 TEL 0766-56-1511 印 刷 有限会社松本印刷
---







